




Dell OptiPlex 3011 AIO

オーナーズマニュアル

規制モデル：W07B
規制タイプ：W07B001



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2013 Dell Inc. 無断転載を禁じます。

本書で使用されている商標 : Dell™、DELL ロゴ、Dell Precision™、Precision ON™、ExpressCharge™、Latitude™、Latitude ON™、OptiPlex™、Venue™、Vostro™、および Wi-Fi Catcher™ は Dell Inc. の商標です。Intel®、Pentium®、Xeon®、Core™、Atom™、Centrino®、および Celeron® は米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標または商標です。AMD® は Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標、AMD Opteron™、AMD Phenom™、AMD Sempron™、AMD Athlon™、ATI Radeon™、および ATI FirePro™ は Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。Microsoft®、Windows®、MS-DOS®、Windows Vista®、Windows Vista スタートボタン、および Office Outlook® は米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Blu-ray Disc™ は Blu-ray Disc Association (BDA) が所有する商標で、ディスクおよびプレーヤーで使用するライセンスを取得しています。Bluetooth® の文字マークは Bluetooth® SIG, Inc. が所有する登録商標で、Dell Inc. はそのようなマークを取得ライセンスのもとに使用しています。Wi-Fi® は Wireless Ethernet Compatibility Alliance, Inc. の登録商標です。

2013 - 11

Rev. A01

目次

1 コンピューター内部の作業	5
コンピューター内部の作業を始める前に.....	5
奨励するツール.....	6
コンピューターの電源を切る.....	6
コンピューター内部の作業を終えた後に.....	7
重要情報.....	7
2 コンポーネントの取り外しと取り付け	9
システムの概要.....	9
内面図.....	9
スタンドカバーの取り外し.....	10
スタンドカバーの取り付け.....	10
VESA スタンドの取り外し.....	10
VESA スタンドの取り付け.....	11
背面カバーの取り外し.....	11
背面カバーの取り付け.....	13
オプティカルディスクドライブの取り外し.....	13
オプティカルディスクドライブの取り付け.....	14
コントロールパネルボードの取り外し.....	15
コントロールボードの取り付け.....	15
ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) カードの取り外し.....	15
WLAN カードの取り付け.....	16
メモリの取り外し.....	16
メモリの取り付け.....	17
システム基板カバーの取り外し.....	17
システム基板カバーの取り付け.....	19
コイン型電池の取り外し.....	19
コイン型バッテリーの取り付け.....	20
ヒートシンクの取り外し.....	20
ヒートシンクの取り付け.....	21
システムファンの取り外し.....	21
システムファンの取り付け.....	21
プロセッサの取り外し.....	22
プロセッサの取り付け.....	22
インテル® ジョンスイッチの取り外し.....	22
インテル® ジョンスイッチの取り付け.....	23
スピーカーの取り外し.....	23
スピーカーの取り付け.....	24


電源スイッチの取り外し.....	24
電源スイッチの取り付け.....	25
ハードディスクドライブの取り外し.....	25
ハードディスクドライブの取り付け.....	27
システム基板の取り外し.....	27
システム基板コンポーネント.....	31
システム基板の取り付け.....	32
ディスプレイブラケットの取り外し.....	32
ディスプレイブラケットの取り付け.....	35
カメラの取り外し.....	36
カメラの取り付け.....	36
シリアルポートの取り外し.....	37
シリアルポートの取り付け.....	38
3 システムセットアップ.....	39
起動順序.....	39
Navigation Keys.....	39
セットアップユーティリティのオプション.....	40
Updating the BIOS.....	50
System and Setup Password.....	50
Assigning a System Password and Setup Password.....	50
既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードの削除または変更.....	51
4 Diagnostics (診断).....	53
ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断.....	53
5 コンピューターのトラブルシューティング.....	55
重要情報.....	55
診断電源 LED コード.....	55
ビープコード.....	56
エラーメッセージ.....	56
6 仕様.....	59
7 Contacting Dell.....	65


コンピューター内部の作業


コンピューター内部の作業を始める前に


コンピューターの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。


- コンピューターに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。


 **警告:** コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属の「安全に関する情報」に目を通してください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスに関するホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) を参照してください。

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

 **注意:** 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピューターの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。


 **注意:** コンポーネントとカードは丁寧に取り扱いってください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。

 **注意:** ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクタかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクタにロックタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロックタブを押さえてください。コネクタを引き抜く場合、コネクタピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。

 **メモ:** お使いのコンピューターの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピューターの損傷を防ぐため、コンピューター内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. コンピューターのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピューターの電源を切ります（「コンピューターの電源を切る」を参照）。

 **注意:** ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピューターから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

3. コンピューターからすべてのネットワークケーブルを外します。
4. コンピューターおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
5. システムのコンセントが外されている状態で、電源ボタンをしばらく押して、システム基板の静電気を除去します。

6. カバーを取り外します。

△ **注意:** コンピューターの内部に触れる前に、コンピューターの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。

奨励するツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバー
- プラスドライバー
- 小型のプラスチックスクライブ


コンピューターの電源を切る

△ **注意:** データの損失を防ぐため、コンピューターの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。


1. オペレーティングシステムをシャットダウンします。

– Windows 8 では:


* タッチパネル入力を有効にするデバイスの用法:

- a. 画面の右端からスワイプ入力し、チャームメニューを開き、**Settings** (設定) を選択します。
- b.  を選択し、続いて**シャットダウン**を選択します。


* マウスの用法:

- a. 画面の右上隅をポイントし、**Settings** (設定) をクリックします。
- b. ライセンス情報を展開または折りたたむには、 続いて **Shut down** (シャットダウン) を選択します。

– Windows 7 の場合 :

1. **スタート** をクリックします。  をクリックします。
2. **Shut Down** (シャットダウン) をクリックします。

または

1. **スタート** をクリックします。  をクリックします。
2. 下に示すように **Start** (開始) メニューの右下隅の矢印をクリックして、**Shut Down** (シャット

ダウン) をクリックします。




2. コンピューターと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピューターとデバイスの電源が自動的に切れない場合、電源ボタンを 6 秒間押し続けたままにして電源を切ります。

コンピューター内部の作業を終えた後に



交換（取り付け）作業が完了したら、コンピューターの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどが接続されていることを確認してください。

1. カバーを取り付けます。

 **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピューターに差し込みます。

2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピューターに接続します。
3. コンピューター、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
4. コンピューターの電源を入れます。
5. 必要に応じて Dell 診断を実行して、コンピューターが正しく動作することを確認します。

重要情報

-  **メモ:** ほこりの多い、高温、または湿気の多い所でタッチスクリーンを使用しないでください。
-  **メモ:** 急激な温度変化によりガラス画面の内面が結露することがありますが、すぐに消えるため通常の使用に影響はありません。

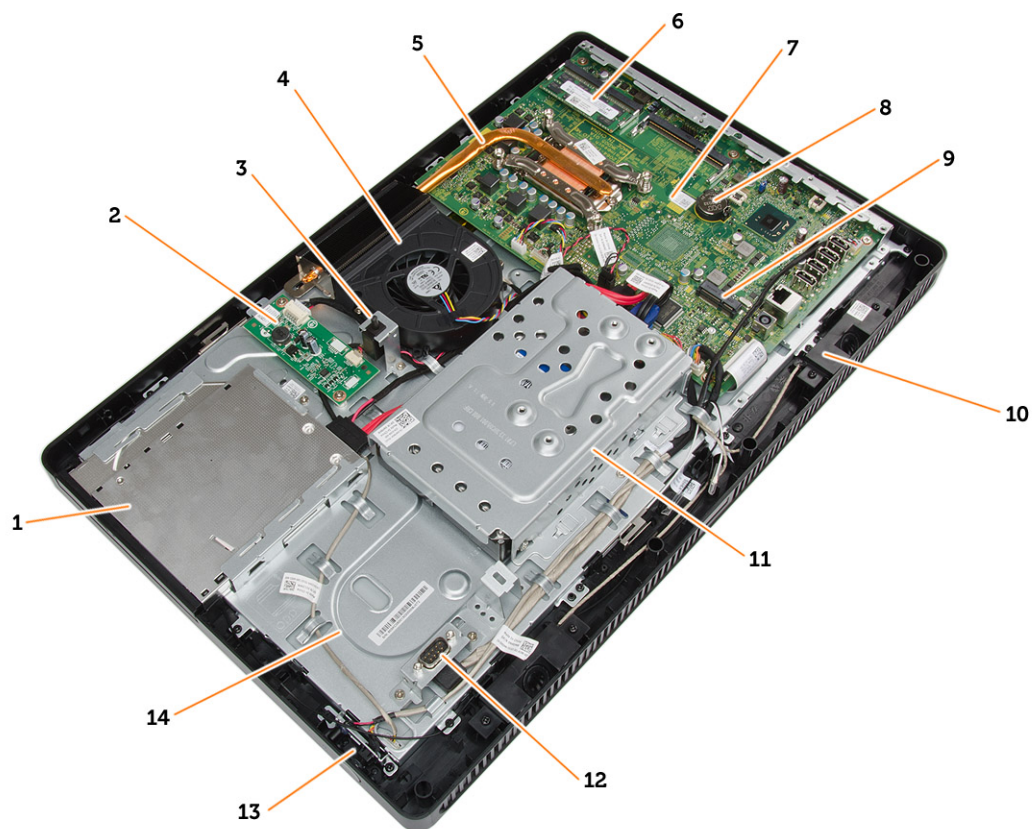
コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションには、お使いのコンピューターからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。

システムの概要

以下の図は背面カバーを取り外した後のコンピューターの内面図です。コールアウトはコンピューター内部のコンポーネントの名前とレイアウトを示しています。

内面図

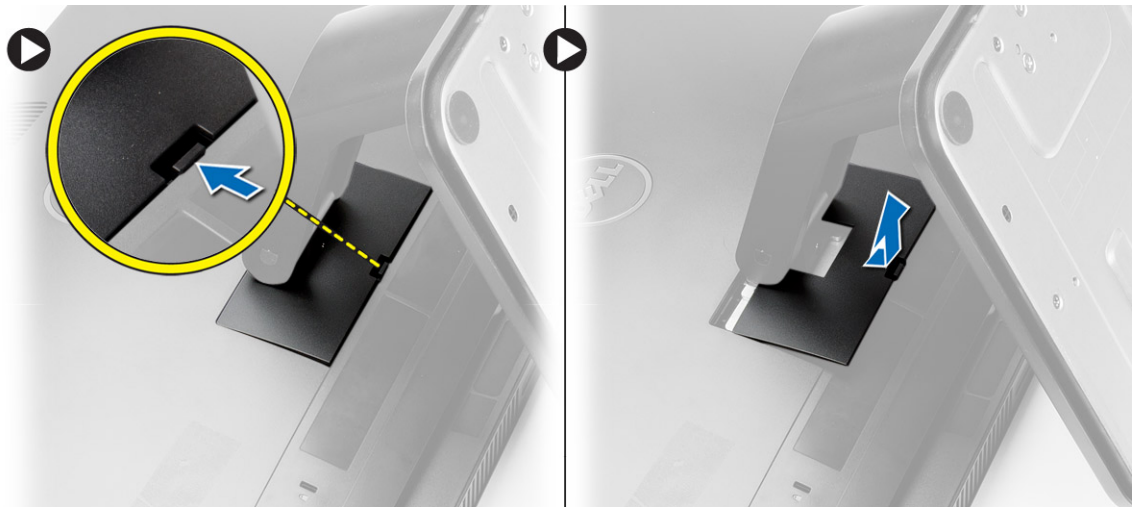


1. オプティカルディスクドライブ
2. コントロールボード
3. イントルージョンスイッチ
4. システムファン
5. ヒートシンク

6. メモリ
7. システム基板
8. コイン型電池
9. スピーカー
10. WLAN カードスロット
11. ハードドライブ
12. 通信ポート
13. 電源スイッチ
14. シャーシ

スタンドカバーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. コンピューターのディスプレイの面を下に向けて平坦な面に置きます。
3. タブを押してスタンドカバーを解除し、コンピューターから取り外します。



スタンドカバーの取り付け

1. スタンドカバーを所定の位置にスライドさせて押し込みコンピューターに固定します。
2. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

VESA スタンドの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. スタンドカバーを取り外します。
3. VESA スタンドをコンピューターに固定しているネジを外し、VESA スタンドをコンピューターから取り外します。



VESA スタンドの取り付け

1. VESA スタンドをコンピュータに配置します。
2. VESA スタンドをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) スタンドカバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

背面カバーの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
3. プラスチックスクライブを使用して、背面カバーをコンピュータから解除します。



4. 背面カバーをコンピュータから取り外します。

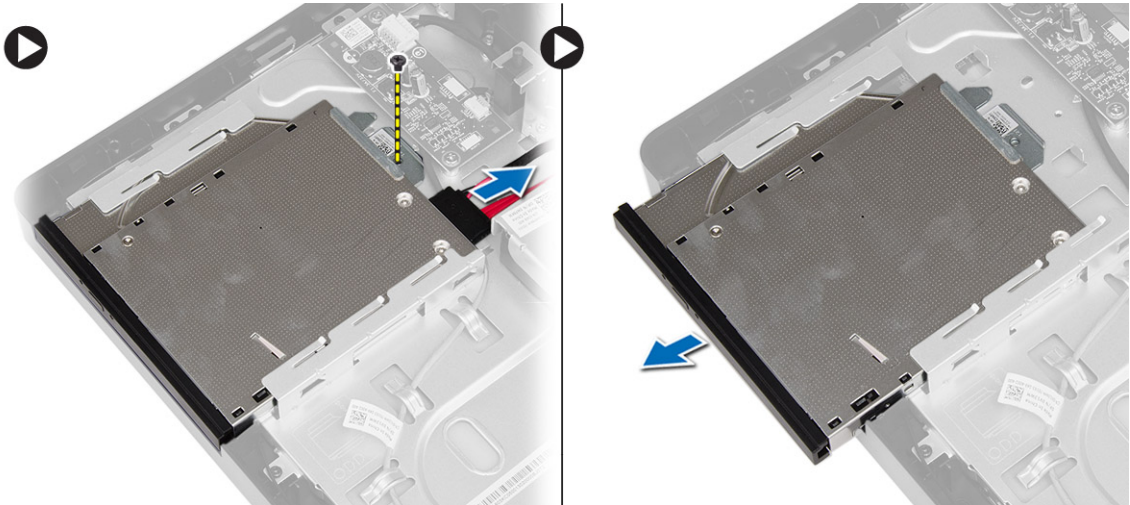


背面カバーの取り付け

1. 背面カバーをコンピューターに設置します。
2. 背面カバーの角を押して背面カバーをコンピューターに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) VESA スタンド
 - b) スタンドカバー
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

オプティカルディスクドライブの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
3. オプティカルディスクドライブをコンピューターに固定しているネジを外し、オプティカルディスクドライブからケーブルを外します。オプティカルディスクドライブをスライドさせてコンピューターから取り外します。



4. ブラケットを光学ディスクドライブに固定しているネジを外し、ブラケットを光学ディスクドライブから取り外します。

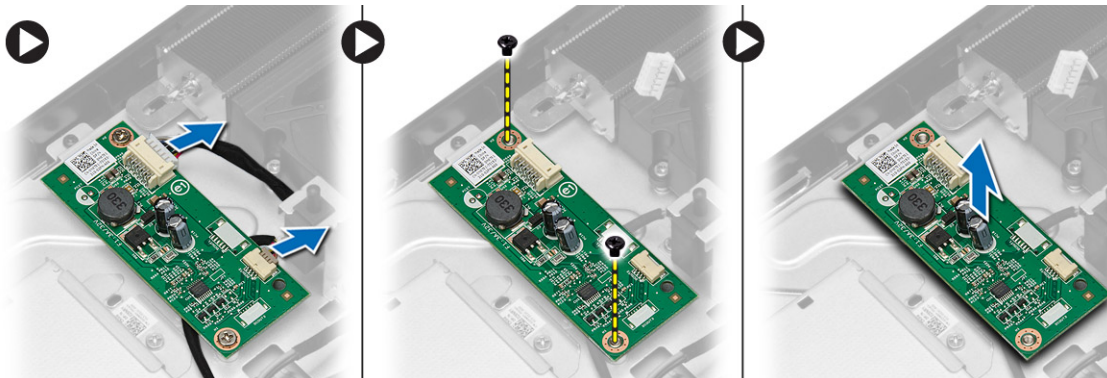


光学ディスクドライブの取り付け

1. ブラケットを光学ディスクドライブにセットし、ネジを締めて固定します。
2. 光学ディスクドライブをコンピュータにスライドさせ、ネジを締めて固定します。
3. ケーブルをコントロールボードに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) 背面カバー
 - b) VESA スタンド
 - c) スタンドカバー
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

コントロールパネルボードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
3. コントロールボードからケーブルを外し、コントロールボードをコンピュータに固定しているネジを外します。コントロールボードをコンピュータから取り外します。

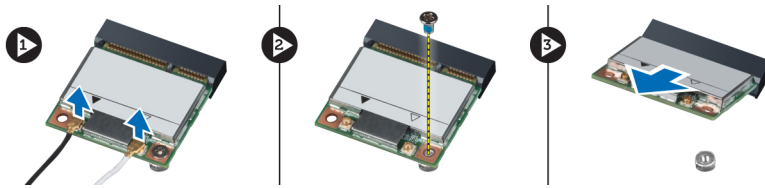


コントロールボードの取り付け

1. コントロールボードをコンピュータにセットします。
2. ネジを締めてコントロールボードをコンピュータに固定します。
3. ケーブルをコントロールボードに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) 背面カバー
 - b) VESA スタンド
 - c) スタンドカバー
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) カードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
 - d) システム基板カバー
3. アンテナケーブルを WLAN カードから外します。WLAN カードをシステム基板に固定しているネジを外します。WLAN カードを持ち上げてコンピュータから取り外します。

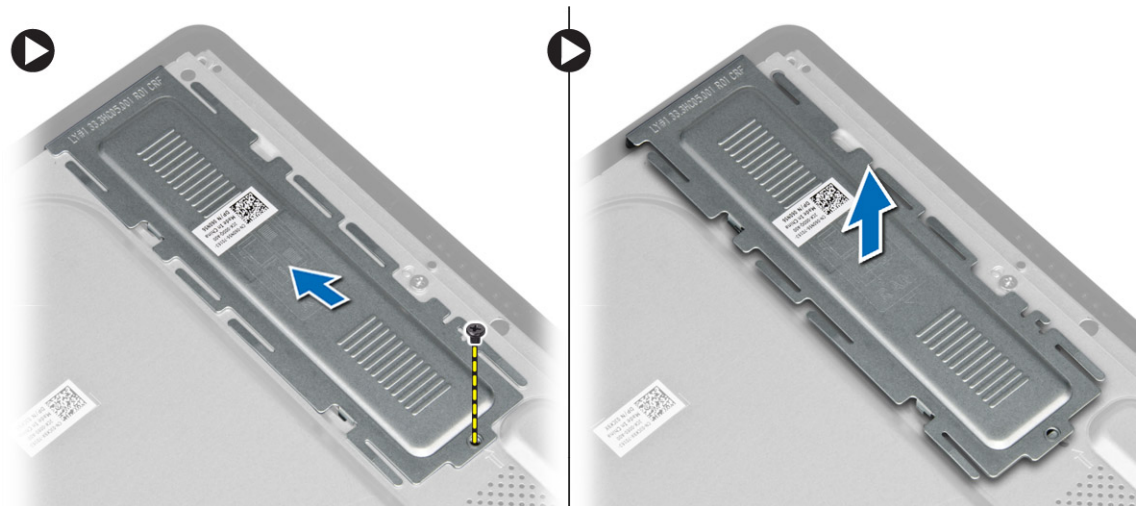


WLAN カードの取り付け

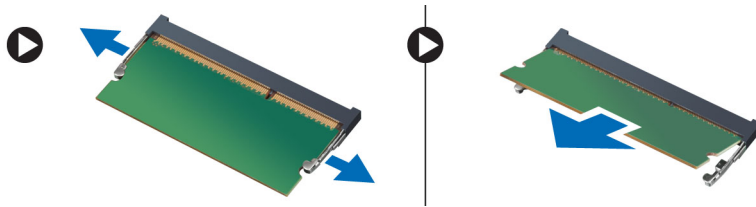
1. WLAN カードをスライドさせてスロットに差し込み、ネジを締めてシステム基板に固定します。
2. WLAN カードにアンテナケーブルを接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板カバー
 - b) 背面カバー
 - c) VESA スタンド
 - d) スタンドカバー
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

メモリの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
3. メモリスタンドをコンピューターに固定しているネジを外し、スライドさせてメモリカバーをコンピューターから解除します。メモリカバーをコンピューターから取り外します。



4. 固定クリップをメモリモジュールから飛び出すまでこの原理で取り外します。メモリモジュールをコネクタから持ち上げて取り外します。

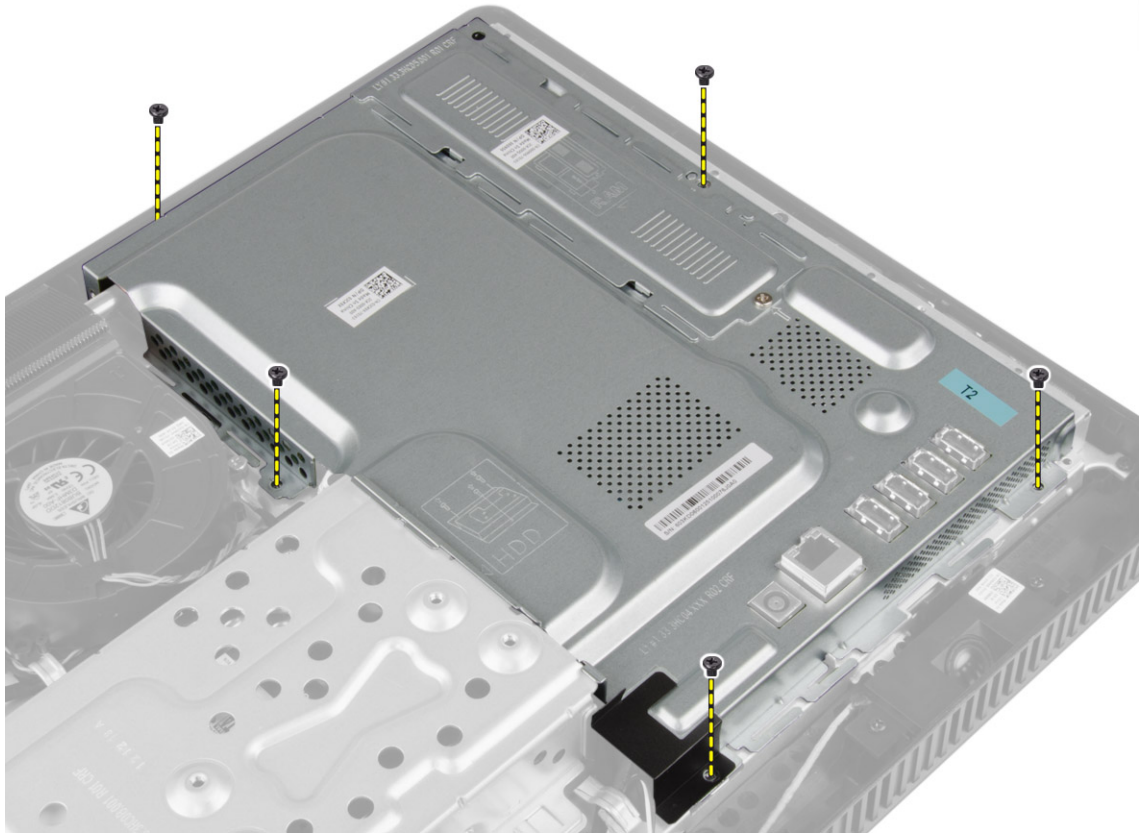


メモリの取り付け

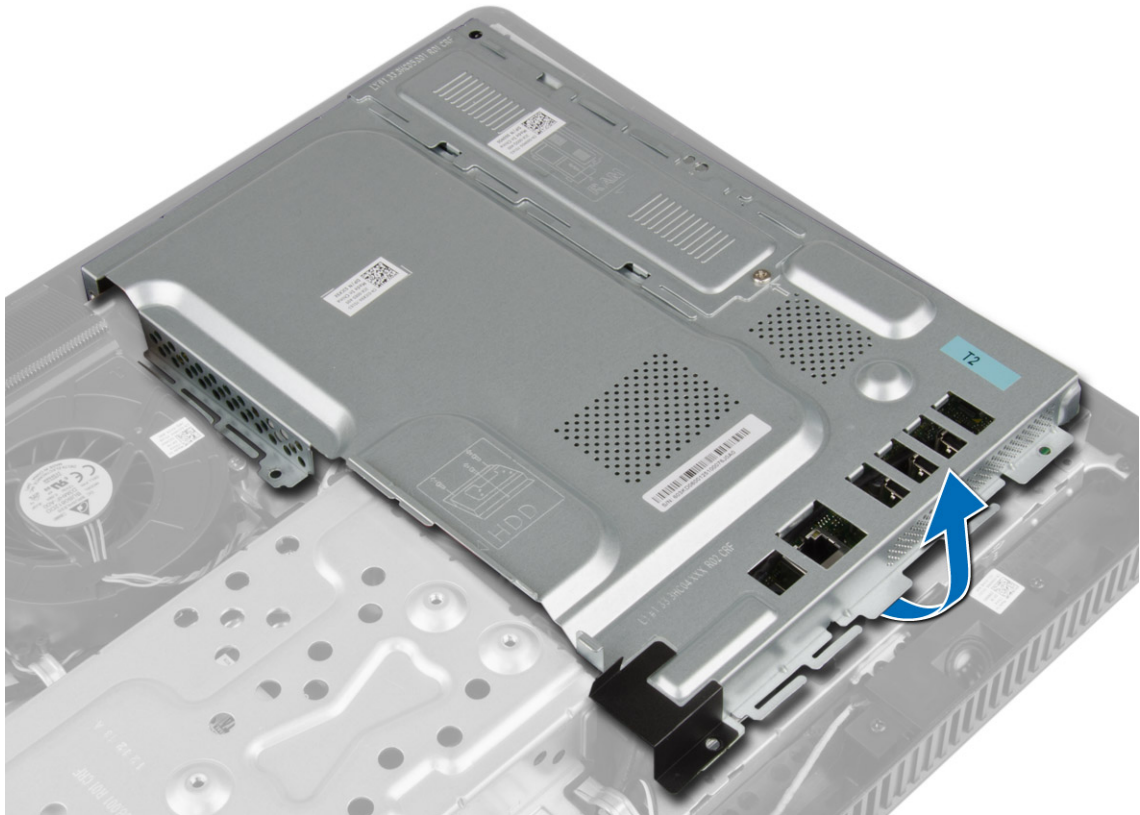
1. メモリカードの切り込みをシステム基板コネクタのタブの位置に合わせます。
2. リリースタブのバネが戻ってメモリモジュールを所定の位置に固定させるまで、メモリモジュールを押し下げます。
3. メモリカバーを元の位置にセットし、ネジを締めて固定します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) 背面カバー
 - b) VESA スタンド
 - c) スタンドカバー
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システム基板カバーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
3. システム基板カバーをコンピューターに固定しているネジを外します。



4. システム基板カバーを持ち上げて、コンピューターからカバーを取り外します。

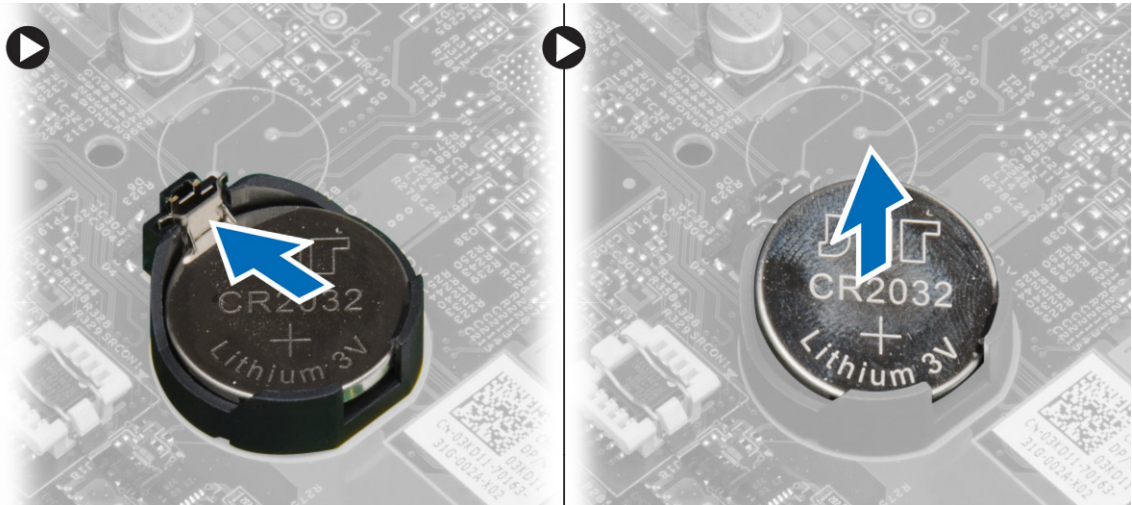


システム基板カバーの取り付け

1. システム基板カバーをコンピュータ上に配置します。
2. ネジを締めてシステム基板カバーをコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) 背面カバー
 - b) VESA スタンド
 - c) スタンドカバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

コイン型電池の取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
 - d) システム基板カバー
3. リリースラッチをバッテリーと反対方向に押してバッテリーがソケットから外れるようにし、コイン型バッテリーをコンピュータから持ち上げて取り外します。

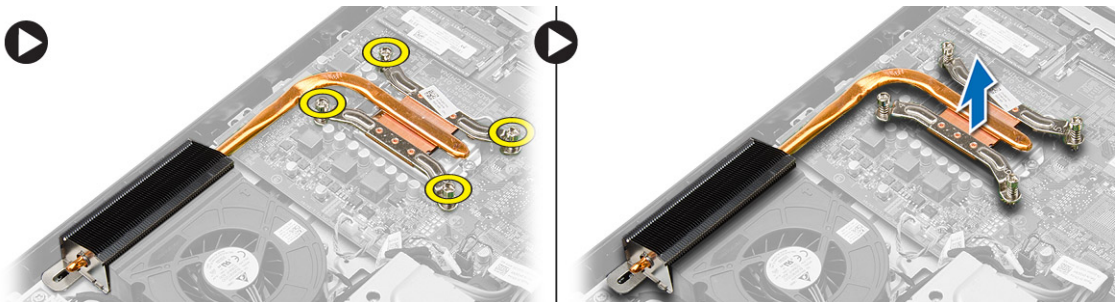


コイン型バッテリーの取り付け

1. コイン型バッテリーをシステム基板のスロットに入れます。
2. リリースラッチのバネが所定の位置に戻るまで、コイン型バッテリーを押し下げて固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板カバー
 - b) 背面カバー
 - c) VESA スタンド
 - d) スタンドカバー
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ヒートシンクの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
 - d) システム基板カバー
3. ヒートシンクをコンピュータに固定しているネジを外し、ヒートシンクをコンピュータから取り外します。

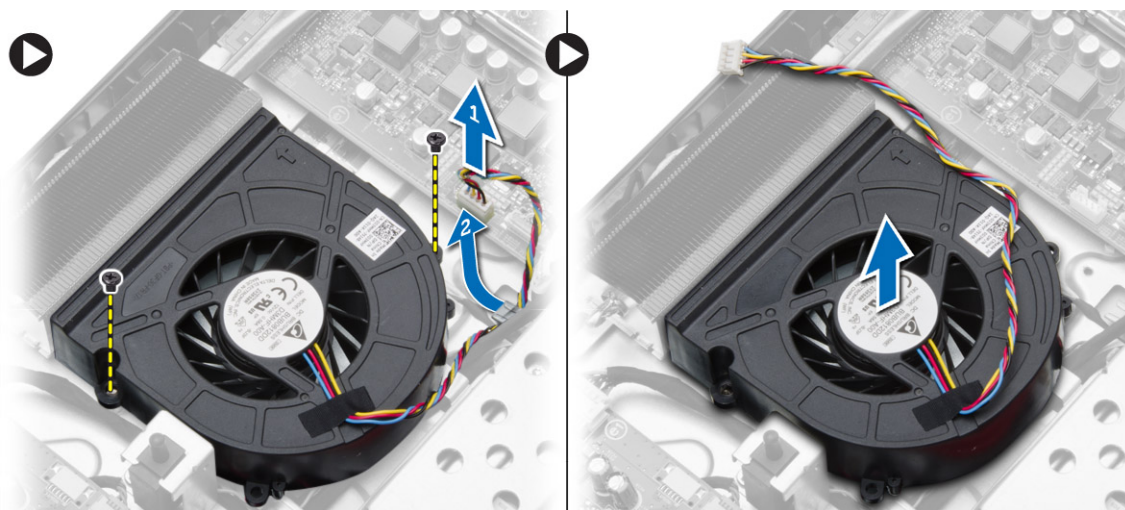


ヒートシンクの取り付け

1. ヒートシンクをコンピュータ上にセットします。
2. ネジを締めてヒートシンクをコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板カバー
 - b) 背面カバー
 - c) VESA スタンド
 - d) スタンドカバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システムファンの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
 - d) システム基板カバー
3. システムファンケーブルをシステム基板から取り外します。システムファンをコンピュータに固定しているネジを外し、システムファンをコンピュータから取り外します。



システムファンの取り付け

1. システムファンをコンピュータ上にセットします。
2. システムファンケーブルをコンピュータ上のタブに沿って配線し、ケーブルをシステム基板に接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板カバー
 - b) 背面カバー
 - c) VESA スタンド
 - d) スタンドカバー

4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

プロセッサの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
 - d) システム基板カバー
 - e) ヒートシンク
3. リリースレバーを押し下げ、外側に移動させてリリースレバーを固定している固定フックから外します。プロセッサカバーを持ち上げ、ソケットからプロセッサを取り外します。

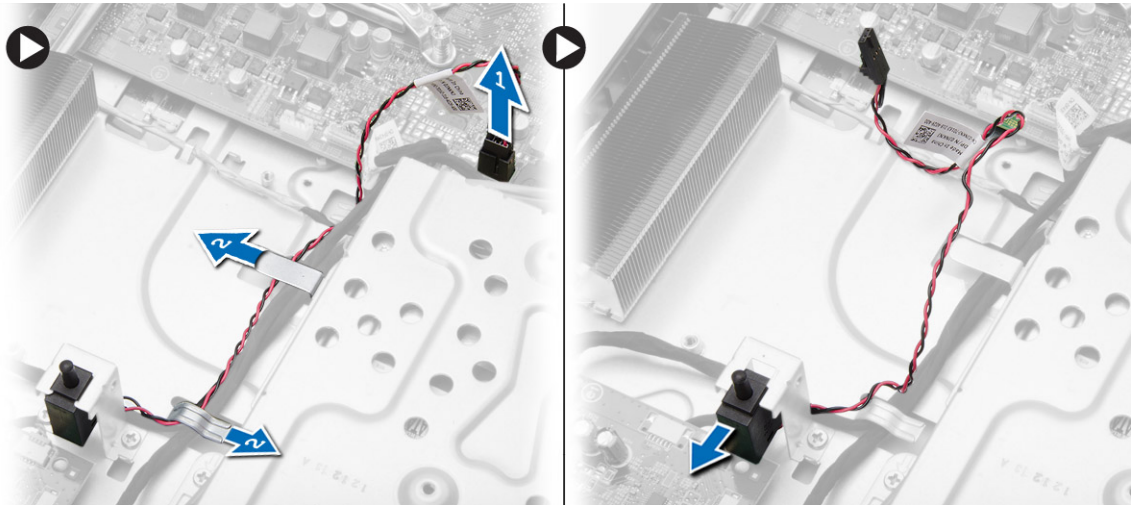


プロセッサの取り付け

1. プロセッサをプロセッサソケットに差し込みます。プロセッサが正しい位置に設置されていることを確認します。
2. リリースレバーを押し下げ、内側に移動させて固定フックで固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ヒートシンク
 - b) システム基板カバー
 - c) 背面カバー
 - d) VESA スタンド
 - e) スタンドカバー
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

イントルージョンスイッチの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
 - d) システム基板カバー
 - e) システムファン
3. イントルージョンスイッチケーブルをシステム基板から外し、シャーシ上のタブからケーブルを外します。イントルージョンスイッチをスライドさせてコンピュータから取り外します。

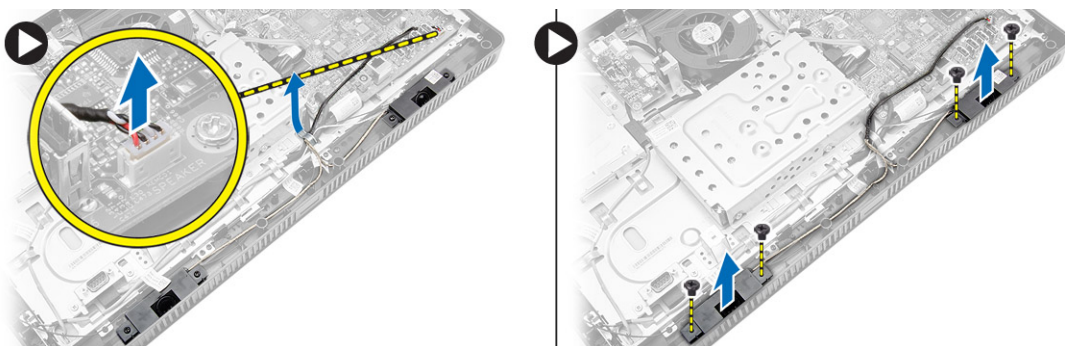


イントルージョンスイッチの取り付け

1. イントルージョンスイッチをコンピューター上に配置します。
2. イントルージョンスイッチケーブルをコンピューター上のタブに沿って配線し、ケーブルをシステム基板に接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システムファン
 - b) システム基板カバー
 - c) 背面カバー
 - d) VESA スタンド
 - e) スタンドカバー
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

スピーカーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
 - d) システム基板カバー
3. スピーカーケーブルをシステム基板から外します。スピーカーをコンピュータに固定しているネジを外し、スピーカーをコンピュータから取り外します。

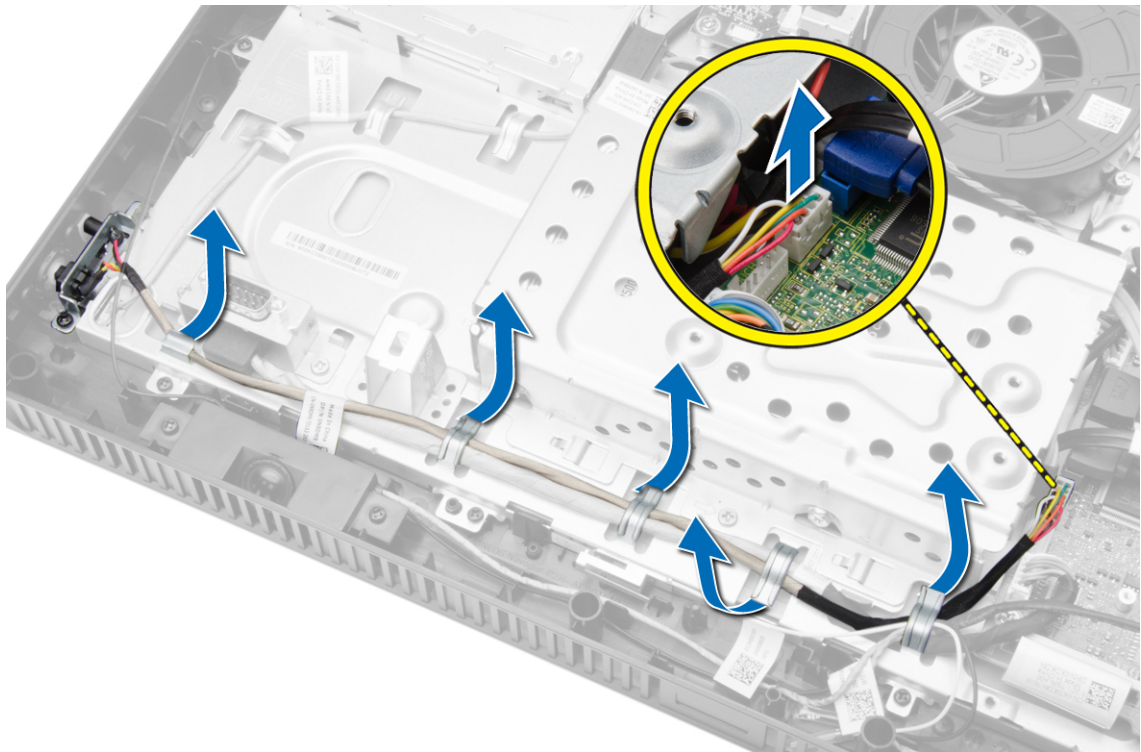


スピーカーの取り付け

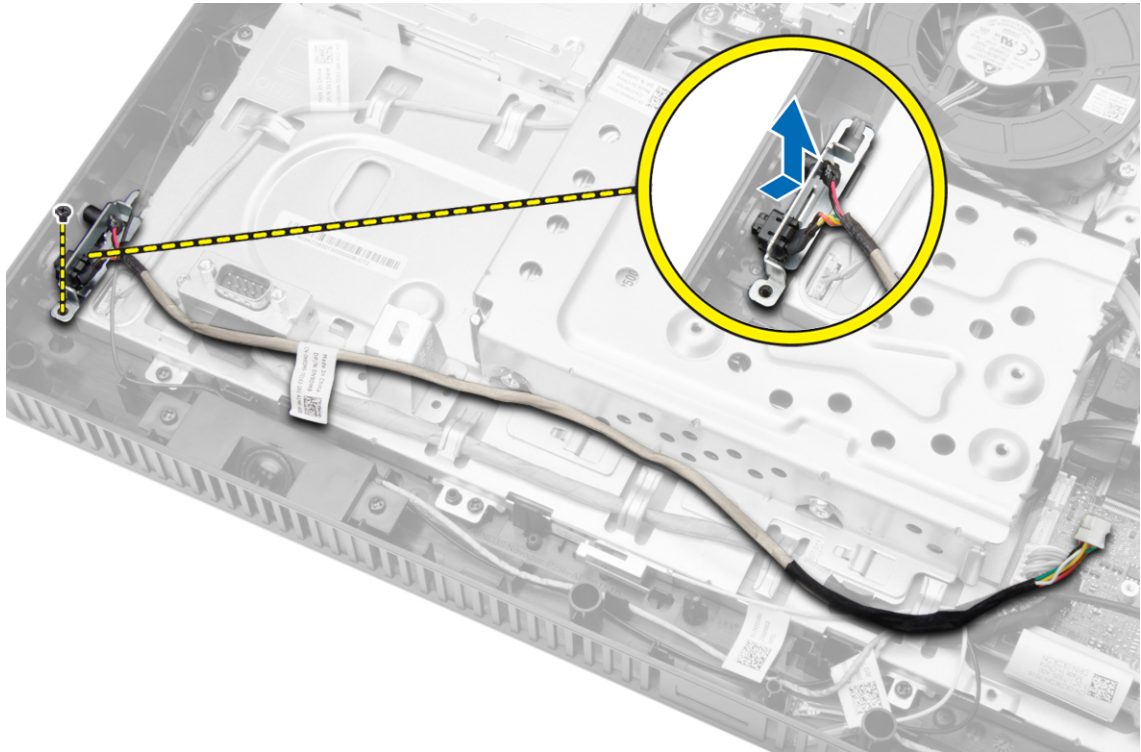
1. ネジを締めてスピーカーをコンピュータに固定します。
2. スピーカーケーブルをコンピュータ上のタブに沿って配線し、ケーブルをシステム基板に接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板カバー
 - b) 背面カバー
 - c) VESA スタンド
 - d) スタンドカバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」 の手順に従います。

電源スイッチの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」 の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
 - d) システム基板カバー
3. 電源スイッチケーブルをシステム基板から外します。電源スイッチケーブルをシャーシ上のタブから外します。



4. 電源スイッチをコンピュータに固定しているネジを外し、電源スイッチをコンピュータから解除して取り外します。

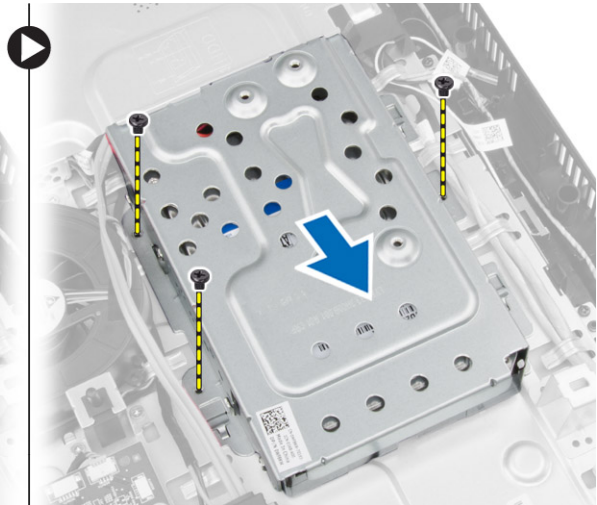
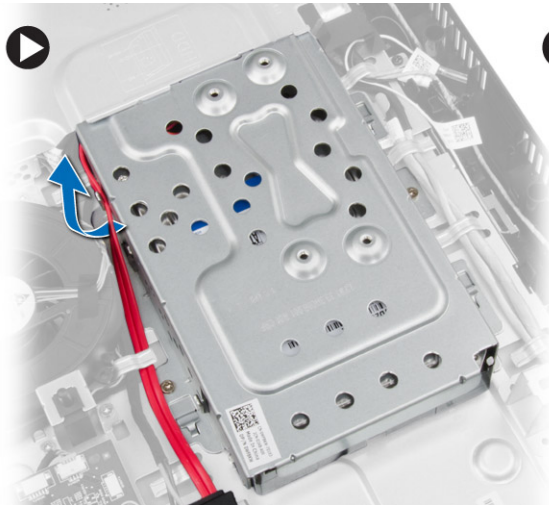


電源スイッチの取り付け

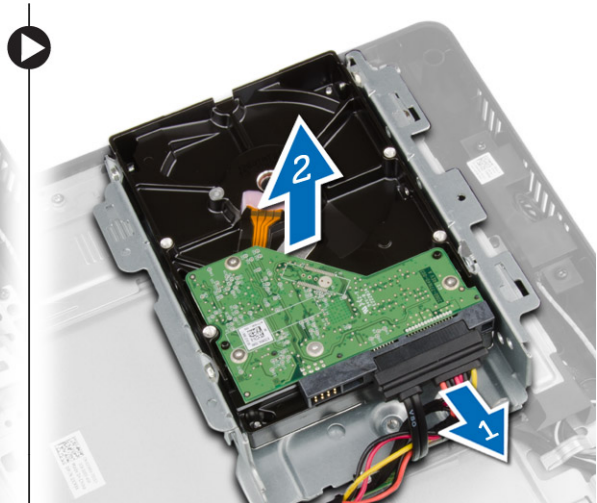
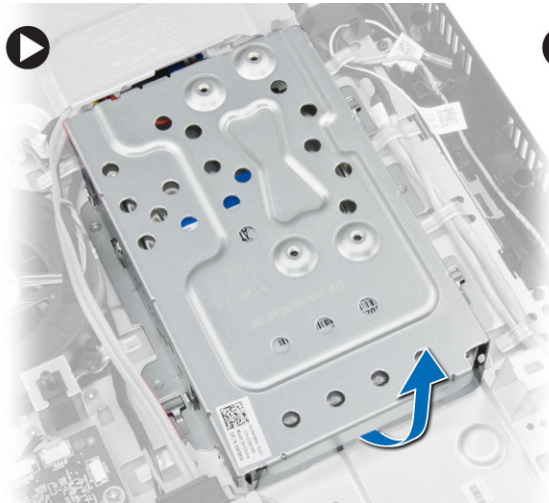
1. 電源スイッチをコンピュータのスロットに差し込み、ネジを締めてコンピュータに固定します。
2. 電源スイッチケーブルをコンピュータのタブに沿って配線し、電源スイッチケーブルをシステム基板に接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板カバー
 - b) 背面カバー
 - c) VESA スタンド
 - d) スタンドカバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ハードディスクドライブの取り外し

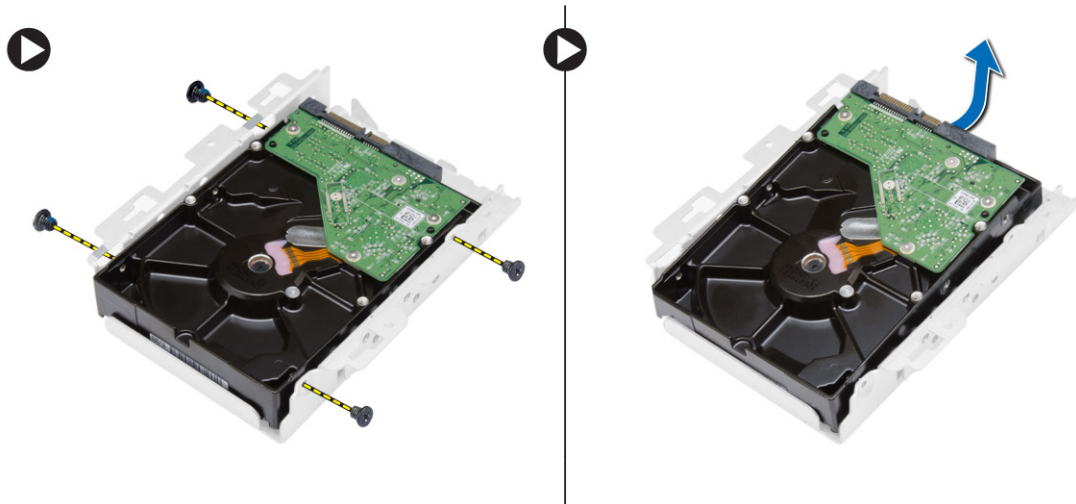
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
3. ハードドライブケーブルを動かしてハードドライブブラケットのネジを取り出せるようにします。ネジを外し、ハードドライブブラケットをスライドさせてシャーシから取り外します。



4. ハードドライブブラケットにハードドライブを回転させて置き、ハードドライブケーブルを取り外せるようにします。ハードドライブケーブルをハードドライブから外します。



5. ハードドライブブラケットをハードドライブに固定しているネジを外し、ハードドライブをハードドライブブラケットから取り外します。

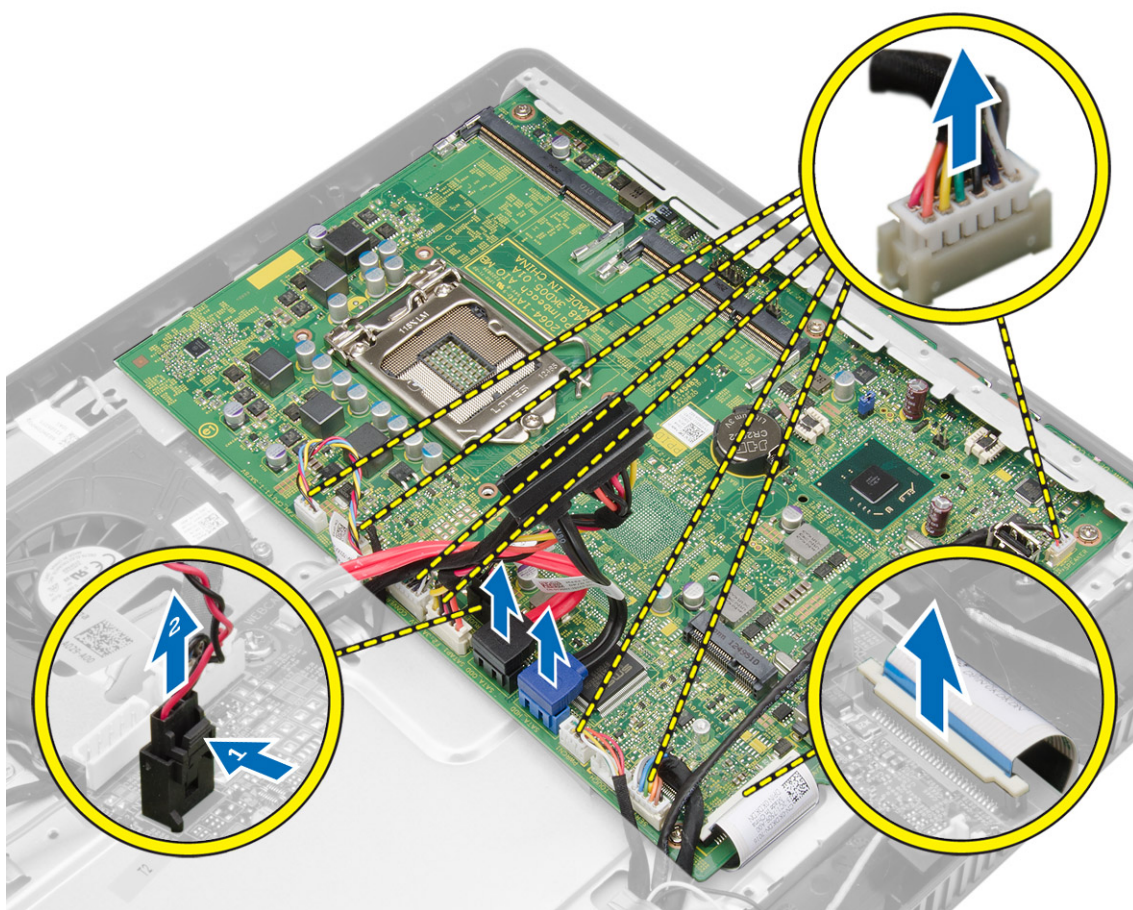


ハードディスクドライブの取り付け

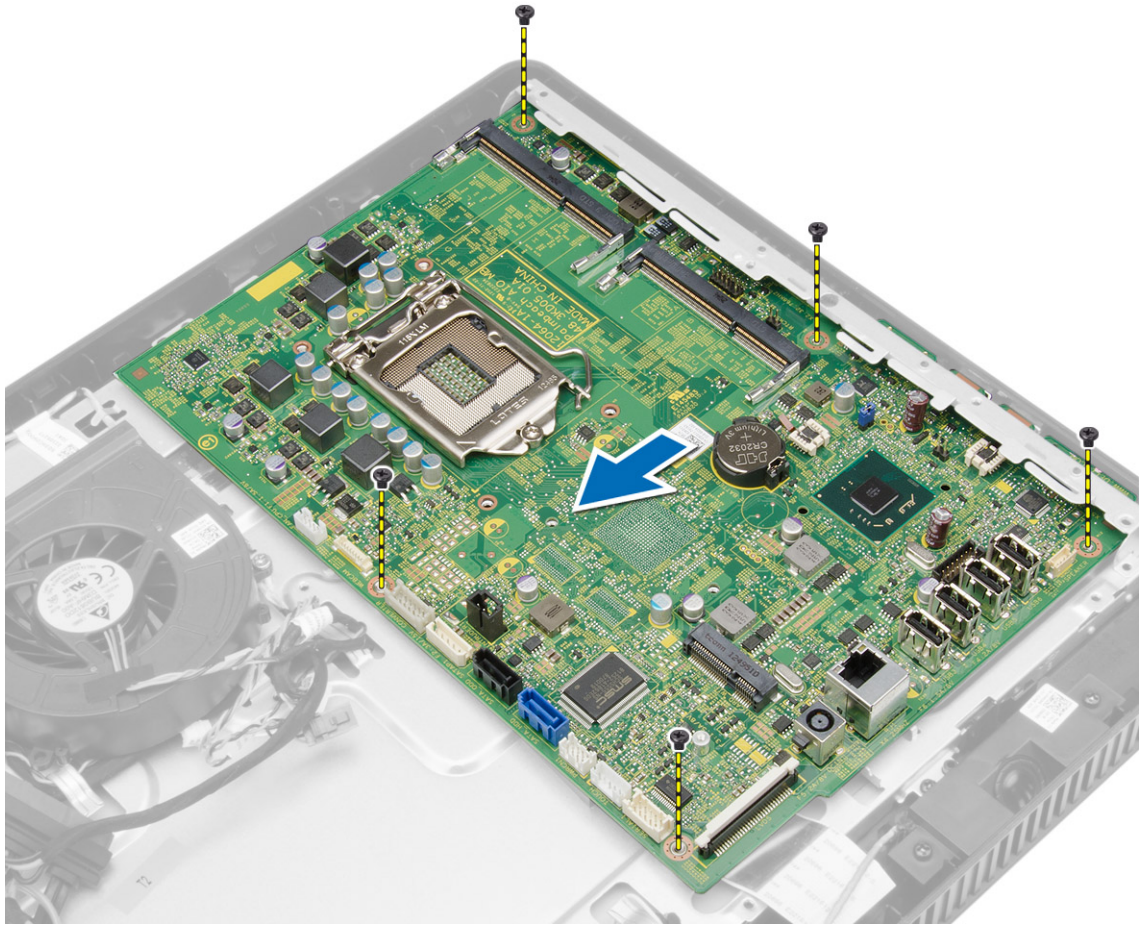
1. ハードドライブをブラケットにセットし、ネジを締めてハードドライブをブラケットに固定します。
2. ハードドライブケーブルをハードドライブに接続し、ハードドライブをコンピュータのスロットに差し込みます。
3. ネジを締めてハードドライブブラケットをコンピュータに固定します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) 背面カバー
 - b) VESA スタンド
 - c) スタンドカバー
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システム基板の取り外し

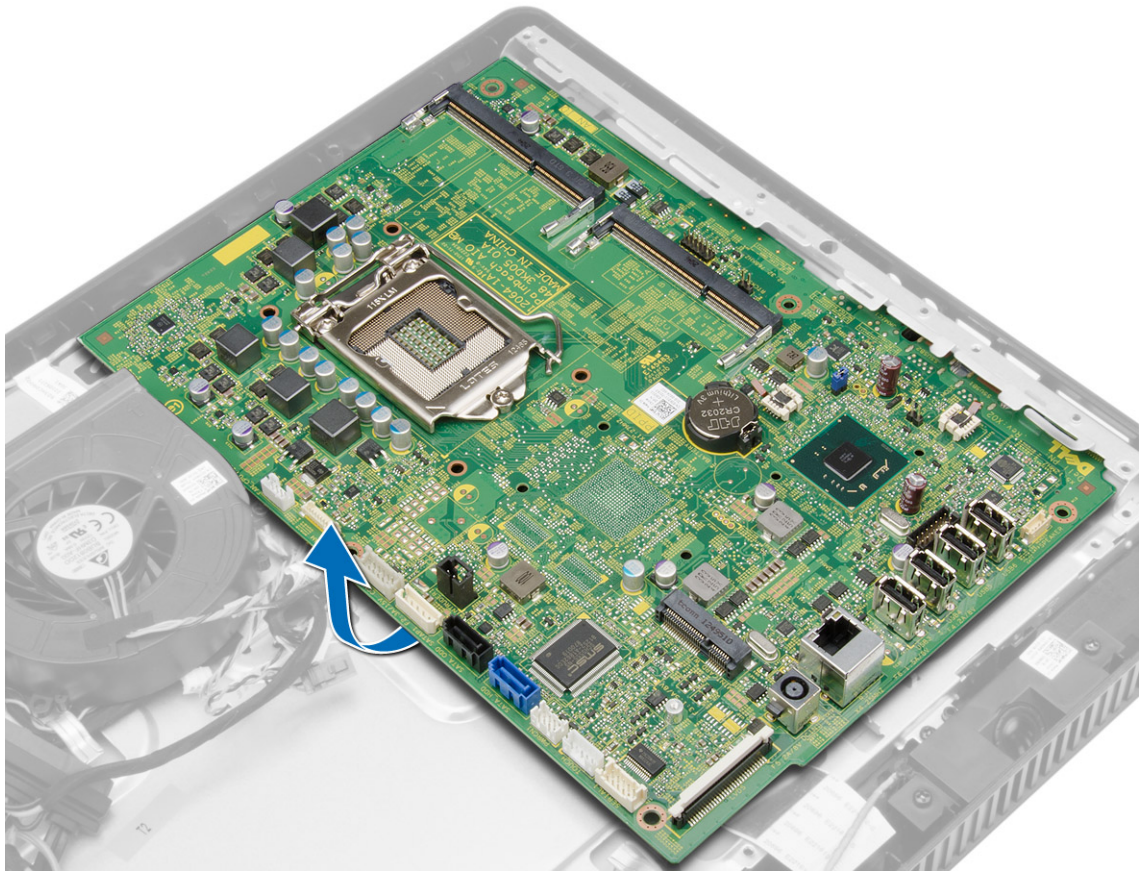
1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
 - d) システム基板カバー
 - e) メモリ
 - f) WLAN カード
 - g) ヒートシンク
 - h) ハードドライブ
 - i) オプティカルディスクドライブ
3. システム基板に接続されているケーブルをすべて外します。



4. システム基板をコンピュータのシャーシに固定しているネジを外し、システム基板をスライドさせてシャーシから解除します。



5. システム基板を片側から持ち上げて、コンピュータから取り外します。

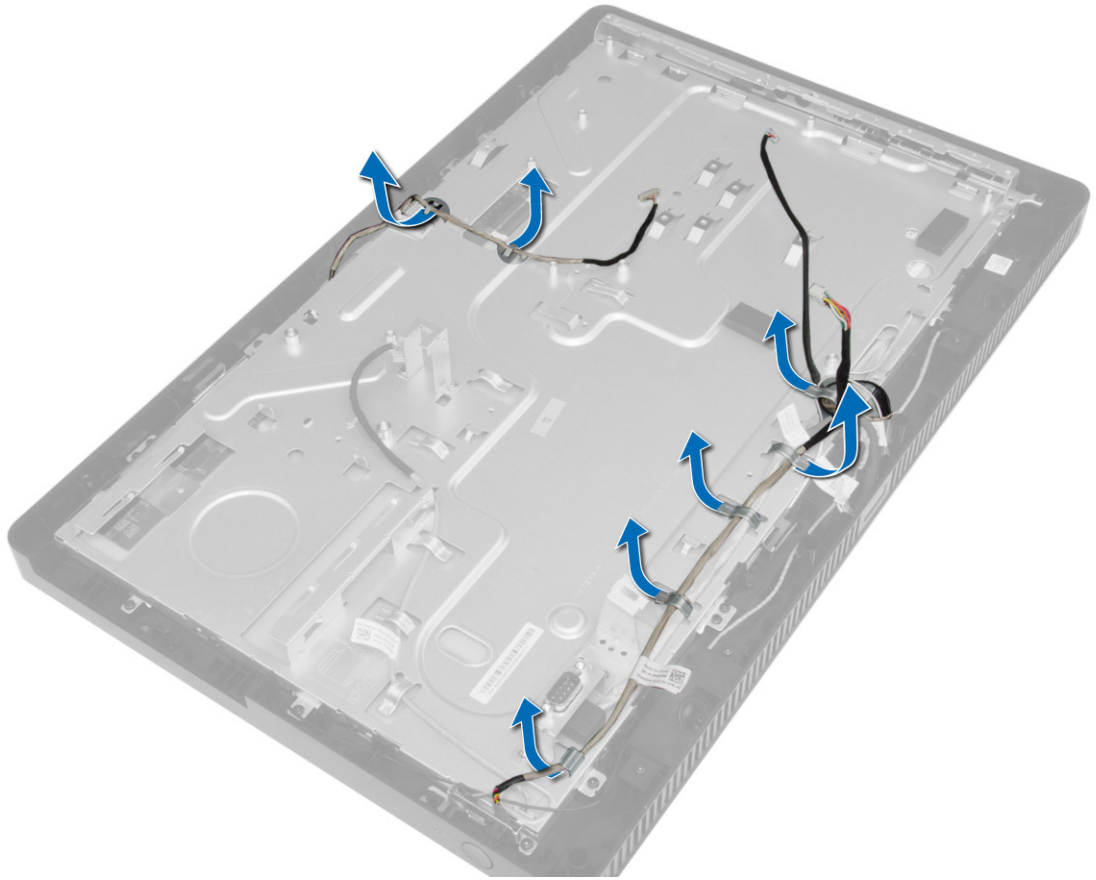


システム基板の取り付け


1. システム基板をコンピューター上に配置します。
2. システム基板をベースパネルに固定するネジを締めます。
3. システム基板にすべてのケーブルを接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) オプティカルディスクドライブ
 - b) ハードドライブ
 - c) ヒートシンク
 - d) WLAN カード
 - e) メモリ
 - f) システム基板カバー
 - g) 背面カバー
 - h) VESA スタンド
 - i) スタンドカバー
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

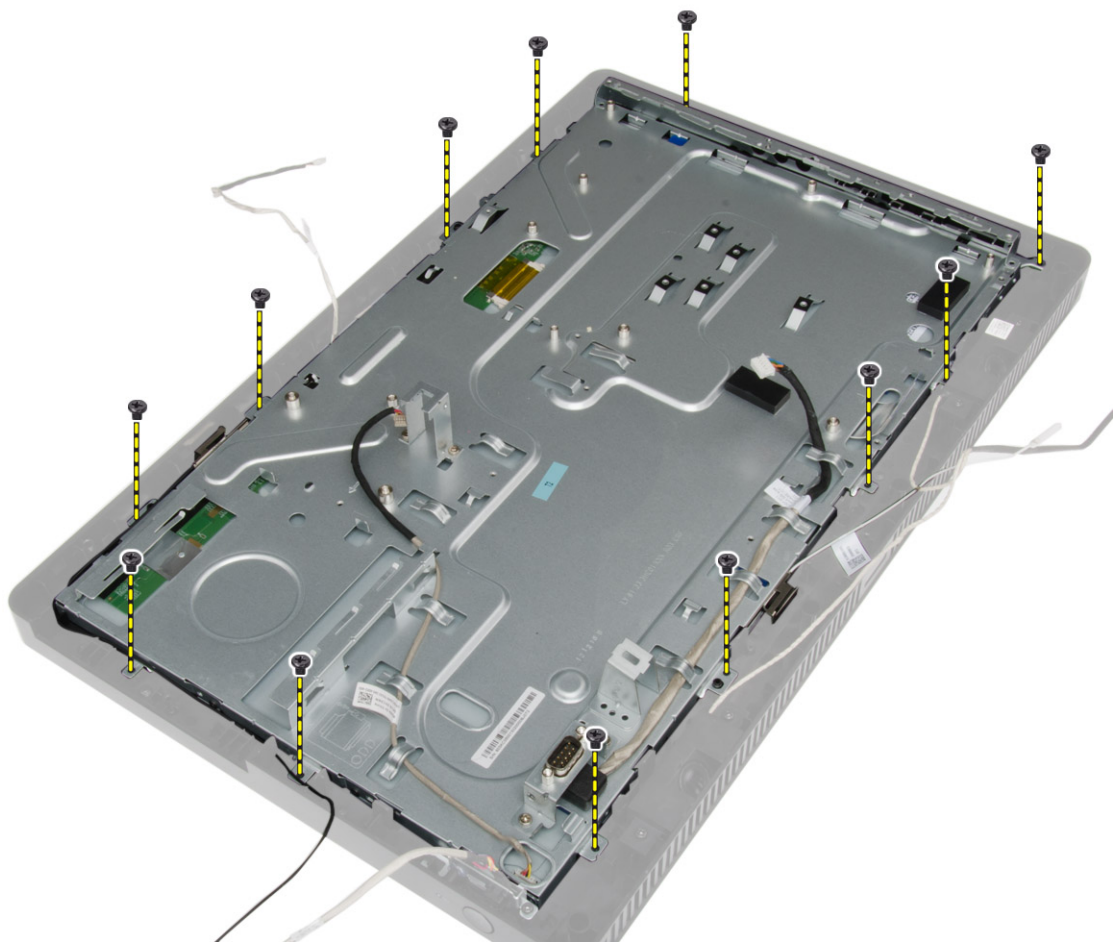
ディスプレイブラケットの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
 - d) システム基板カバー
 - e) WLAN カード
 - f) メモリ
 - g) ヒートシンク
 - h) ハードドライブ
 - i) オプティカルディスクドライブ
 - j) コントロール基板
 - k) システムファン
 - l) インترلージョンスイッチ
 - m) 電源スイッチ
 - n) システム基板
3. カメラケーブルとディスプレイケーブルをディスプレイブラケットのタブから外します。

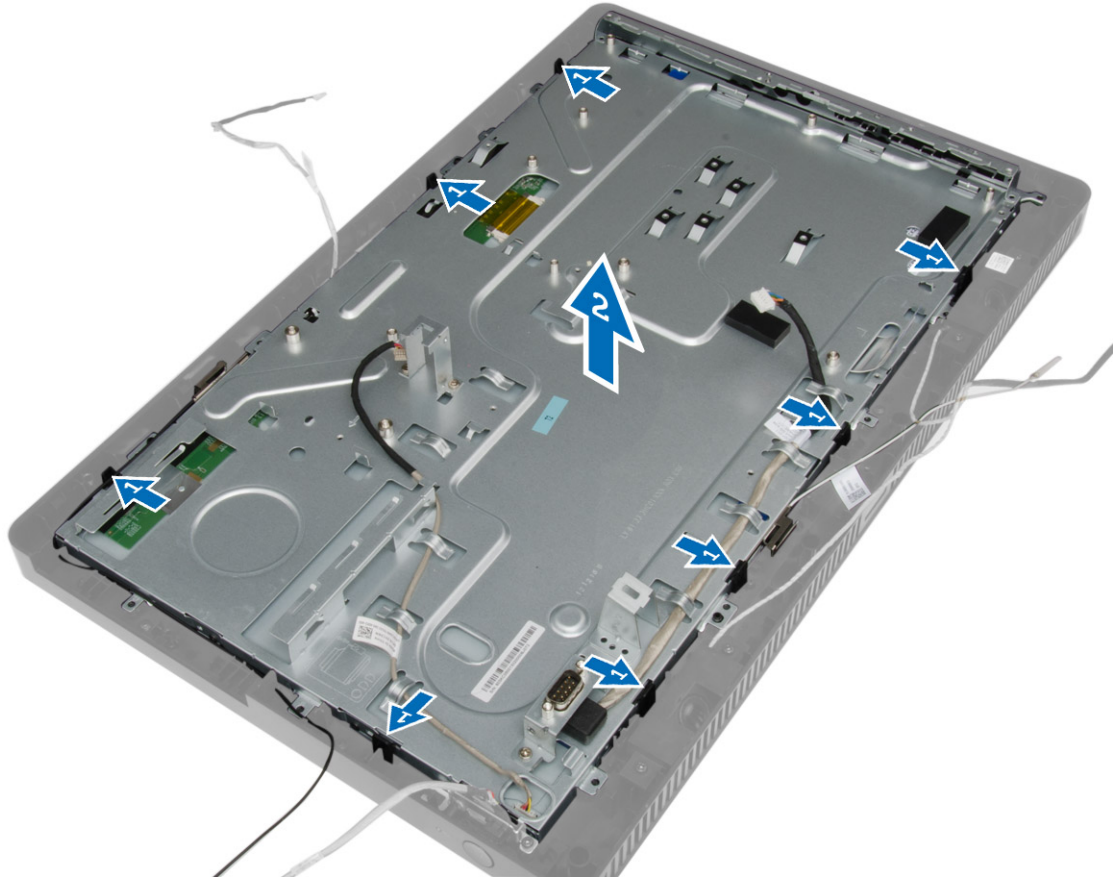


4. ディスプレイブラケットをコンピュータに固定しているネジを外します。

 **メモ:** タッチディスプレイで外すネジは、8本だけです。



5. ディスプレイブラケットをシャーシのタブから解除し、コンピュータから取り外します。



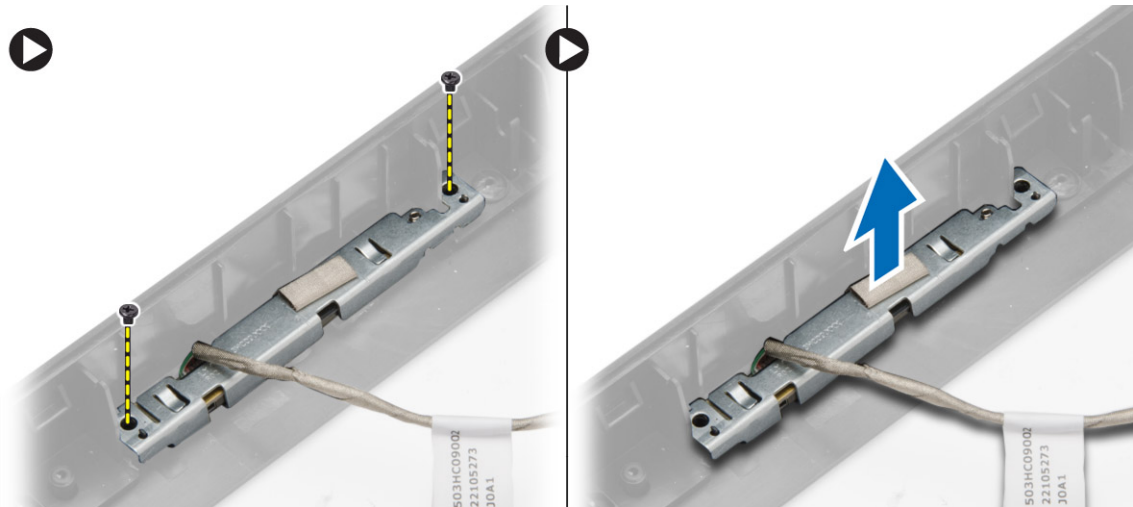
ディスプレイブラケットの取り付け

1. ディスプレイブラケットをコンピュータにセットします。
2. ネジを締めて、ディスプレイブラケットをコンピュータに固定します。
3. カメラケーブルとディスプレイケーブルをタブに沿って配線します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板
 - b) 電源スイッチ
 - c) インテルージョンスイッチ
 - d) システムファン
 - e) コントロール基板
 - f) オプティカルディスクドライブ
 - g) ハードドライブ
 - h) ヒートシンク
 - i) メモリ
 - j) WLAN カード
 - k) システム基板カバー
 - l) 背面カバー

- m) VESA スタンド
 - n) スタンドカバー
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

カメラの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
 - d) システム基板カバー
 - e) WLAN カード
 - f) メモリ
 - g) ヒートシンク
 - h) ハードドライブ
 - i) オプティカルドライブ
 - j) コントロールボード
 - k) システムファン
 - l) インテルージョンスイッチ
 - m) 電源スイッチ
 - n) システム基板
 - o) ディスプレイブラケット
3. カメラをコンピュータに固定しているネジを外し、カメラをコンピュータから取り外します。



カメラの取り付け

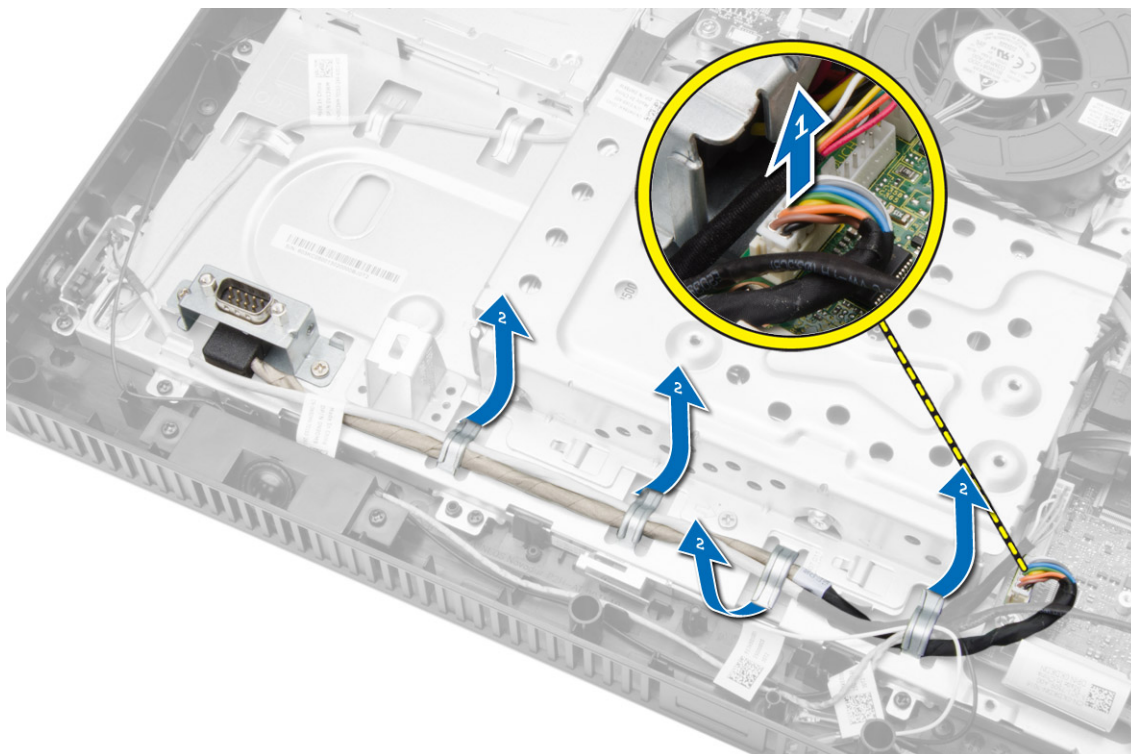
1. カメラをコンピュータにセットします。
2. ネジを締めてカメラをコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ディスプレイブラケット
 - b) システム基板
 - c) 電源スイッチ

- d) インテルージョンスイッチ
- e) システムファン
- f) コントロールボード
- g) オプティカルディスクドライブ
- h) ハードドライブ
- i) ヒートシンク
- j) メモリ
- k) WLAN カード
- l) システム基板カバー
- m) 背面カバー
- n) VESA スタンド
- o) スタンドカバー

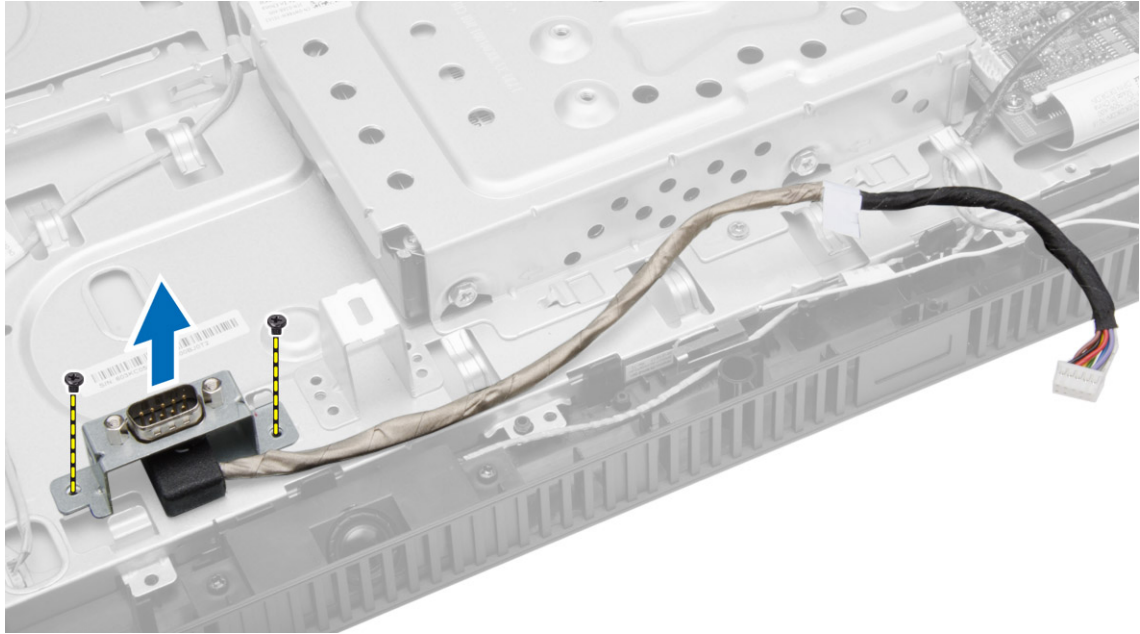
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

シリアルポートの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) スタンドカバー
 - b) VESA スタンド
 - c) 背面カバー
 - d) システム基板カバー
3. シリアルポートケーブルをコンピュータのタブから取り外します。



4. シリアルポートをコンピュータに固定しているネジを外し、シリアルポートをコンピュータから取り外します。



シリアルポートの取り付け

1. ネジを締めシリアルポートをコンピュータに固定します。
2. シリアルポートケーブルをコンピュータのタブに沿って配線し、システム基板に接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板カバー
 - b) 背面カバー
 - c) VESA スタンド
 - d) スタンドカバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システムセットアップ

システムセットアップでコンピューターのハードウェアを管理し BIOS レベルのオプションを指定することができます。システムセットアップで以下の操作が可能です:



- ハードウェアの追加または削除後に **NVRAM** 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 統合されたデバイスの有効/無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピューターのセキュリティを管理する。

起動順序

起動順序ではシステムセットアップで定義された起動デバイスの順序および起動ディレクトリを特定のデバイス (例: オプティカルドライブまたはハードドライブ) にバイパスすることができます。パワーオンセルフテスト (POST) 中に、Dell のロゴが表示されたら、以下の操作が可能です:

- <F2> を押してシステムセットアップにアクセスする
- <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下の通りです:

- リムーバブルドライブ (利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
 **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- オプティカルドライブ
- 診断
 **メモ:** 診断を選択すると **ePSA 診断** 画面が表示されます。

起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

Navigation Keys

The following table displays the system setup navigation keys.



-  **メモ:** For most of the system setup options, changes that you make are recorded but do not take effect until you restart the system.

表 1. Navigation Keys

Keys	Navigation
Up arrow	Moves to the previous field.
Down arrow	Moves to the next field.

Keys	Navigation
<Enter>	Allows you to select a value in the selected field (if applicable) or follow the link in the field.
Spacebar	Expands or collapses a drop - down list, if applicable.
<Tab>	Moves to the next focus area.
	 メモ: For the standard graphics browser only.
<Esc>	Moves to the previous page till you view the main screen. Pressing <Esc> in the main screen displays a message that prompts you to save any unsaved changes and restarts the system.
<F1>	Displays the System Setup help file.

セットアップユーティリティのオプション




 **メモ:** お使いのコンピュータと取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目とは異なる場合があります。

表 2. General (一般)

オプション	説明
システム情報	<p>以下の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> システム情報 - BIOS バージョン、サービスタグ、アセットタグ、購入者タグ、購入日、製造日、エクスプレスサービスコードを表示します。 メモリ情報 - 搭載メモリ、使用可能メモリ、メモリ速度、メモリチャネルモード、メモリテクノロジー、DIMM 1 サイズ、DIMM 2 サイズを表示します。 プロセッサ情報 - プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサ ID、現在のクロックスピード、最小クロックスピード、最大クロックスピード、プロセッサ L2 キャッシュ、プロセッサ L3 キャッシュ、HT 対応、および 64 ビットテクノロジーを表示します。 PCI 情報 - SLOT1 を表示します。 デバイス情報 - SATA-0、SATA-1、LOM MAC アドレス、およびビデオコントローラ Audio Controller (オーディオコントローラ) を表示します。
起動順序	<p>コンピュータがオペレーティングシステムを認識する順序を変更することができます。起動順序を変更するには、右側にあるリストから変更したいデバイスを選択します。デバイスを選択したら、上下の矢印をクリックするか、またはキーボードの PgUp/PgDn キーを使用して、起動オプションの順序を変更します。左側にあるチェックボックスを使用してリストから選択または選択解除することもできます。レガシーオプション ROM でレガシー起動モードをセットアップすることができるようにする必要があります。安全起動を有効にしている場合、レガシー起動モードにすることはできません。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> Boot Sequence (起動順序) - デフォルトでは、Windows の起動マネージャのチェックボックスが選択されています。 Boot List Option (起動リストオプション) - リストオプションは Legacy (レガシー) および UEFI です。デフォルトでは、このオプション UEFI が選択されています。 Add Boot Option (起動オプションの追加) - 起動オプションを追加することができます。 Delete Boot Option (起動オプションの削除) - 既存の起動オプションを削除することができます。

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • View (表示) - 現在の起動オプションをコンピュータに表示することができます。 • Load Defaults (デフォルトをロード) - コンピュータのデフォルト設定を復元します。 • Apply (適用) - 設定を適用することができます。 • Exit (終了) - コンピュータを終了および開始します。
アドバンスト起動オプション	<p>UEFI 起動モードの場合、レガシーオプション ROM オプションを有効にすると、レガシーオプション ROM をロードできます。このオプションがない場合は、UEFI オプション ROM のみロードします。レガシー起動モードではこのオプションが必要です。安全起動を有効にしている場合は、レガシー起動モードは使用できません。デフォルトでは、レガシーオプション ROM を有効にするチェックボックスは選択されていません。その他のオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Load Defaults (デフォルトをロード) - コンピュータのデフォルト設定を復元します。 • Apply (適用) - 設定を適用することができます。 • Exit (終了) - コンピュータを終了および開始します。
日付 / 時刻	日付と時間を設定することができます。システムの日時変更はすぐに反映されます。

表 3. System Configuration (システム設定)

オプション	説明
Integrated NIC	<p>統合ネットワークカードを有効または無効に設定することができます。以下のオプションから選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 • Enabled w/PXE (このオプションはデフォルトで選択されています。) • Enabled w/ImageServer (ImageServer で有効) • Enable UEFI Network Stack (ネットワークスタックで有効) <p> メモ: お使いのコンピューターおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。</p>
シリアルポート	<p>シリアルポートの設定を定義することができます。以下の設定から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • COM1 (このオプションはデフォルトで選択されています。) • COM2 • COM3 • COM4 <p> メモ: オペレーティングシステムは、設定が無効の場合もリソースを割り当てます。</p>
SATA Operation (SATA 動作)	<p>統合 SATA ハードドライブコントローラの動作モードを設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled = SATA コントローラーは非表示 • ATA = SATA は ATA モード用に構成済み



オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • AHCI = SATA は AHCI モード用に構成済み。このオプションは、デフォルトで有効に設定されています。
ドライブ	<p>各種オンボードドライブを有効または無効に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SATA-0 • SATA-1
SMART Reporting (SMART レポート)	<p>このフィールドでは、内蔵ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) 仕様の一部です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
USB Configuration	<p>このフィールドでは、統合された USB コントローラーを設定します。 Boot Support (起動サポート) が有効の場合、システムはあらゆる種類の USB 大容量ストレージデバイス (HDD、メモリーキー、フロッピー) を起動することができます。</p> <p>USB ポートが有効の場合、このポートに接続されたデバイスは有効であり OS で使用することができます。</p> <p>USB ポートが無効の場合、OS はこのポートに接続されたどのデバイスも認識できません。</p> <p>USB 構成のオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Boot Support (起動サポートを有効にする) • Enable Rear Quad USB Ports (後部クアッド USB ポートを有効にする) • Enable Front USB Ports (前部 USB ポートを有効にする) <p> メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
OSD Button Management (OSD ボタン管理)	<p>OSD ボタンを無効にすることができます。 OSD ボタンはデフォルトで有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OSD ボタンを無効にする
オーディオ	<p>統合オーディオコントローラを有効または無効にすることができます。デフォルトでは、オーディオを有効にする オプションが選択されています。</p>
Miscellaneous Devices	<p>各種オンボードデバイスを有効または無効に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Microphone (マイクを有効にする) - このオプションはデフォルトで選択されています。 • Enable Camera (カメラを有効にする) - このオプションはデフォルトで選択されています。 • Enable Media Card (メディアカードを有効にする) - このオプションはデフォルトで選択されています。 • Disable Media Card (メディアカードを無効にする)


表 4. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	<p>このフィールドでは、管理者 (admin) パスワード (セットアップパスワードと呼ばれる場合もある) を設定、変更、または削除します。管理者パスワードではいくつかのセキュリティ機能を有効にすることができます。</p>

オプション	説明
System Password	<p>ドライブにはデフォルトで設定されたパスワードはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enter the old password (古いパスワードを入力する) • Enter the new password (新しいパスワードを入力する) • Confirm the new password (新しいパスワードを確認する) <p>パスワードが正常に変更されるとすぐに反映されます。</p> <p> メモ: 管理者パスワードを削除すると、システムパスワードも削除されます。また、管理者パスワードを使用して HDD パスワードを削除することもできます。システムパスワード、または HDD パスワードがすでに設定されている場合は、管理者パスワードを設定することはできません。システムパスワードおよび/または HDD パスワードと一緒に管理者パスワードを使用したい場合は、先に管理者パスワードを設定する必要があります。</p>
Internal HDD-0 Password (内蔵 HDD-0 パスワード)	<p>コンピューターのパスワード (以前プライマリパスワードと呼ばれていた) を設定、変更、または削除することができます。</p> <p>ドライブにはデフォルトで設定されたパスワードはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enter the old password (古いパスワードを入力する) • Enter the new password (新しいパスワードを入力する) • Confirm the new password (新しいパスワードを確認する) <p>パスワードが正常に変更されるとすぐに反映されます。</p> <p>コンピューターの内蔵ハードディスクドライブ (HDD) のパスワードを設定、変更、または削除することができます。このパスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>ドライブにはデフォルトで設定されたパスワードはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enter the old password (古いパスワードを入力する) • Enter the new password (新しいパスワードを入力する) • Confirm the new password (新しいパスワードを確認する)
Strong Password	<p>Enable strong password (強力なパスワードを有効にする) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
Password Configuration	<p>このフィールドでは、管理者パスワードおよびシステムパスワードで使用できる最小および最大文字数を制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Admin Password Min (管理者パスワードの最小文字数) • Admin Password Max (管理者パスワードの最大文字数) • System Password Min (システムパスワードの最小文字数) • System Password Max (システムパスワードの最大文字数)
Password Bypass	<p>システムの再起動時に <i>System Password</i> (システムパスワード) と内蔵 HDD パスワードの入力指示をスキップすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) — パスワードが設定されると、システムおよび内蔵 HDD パスワード入力ダイアログが表示されます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。 • Reboot Bypass (再起動時にスキップ) — 再起動時、パスワード入力ダイアログをスキップします (ウォームブート)。

オプション	説明
	 メモ: オフの状態から電源を入れると（コールドブート）、システムはシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力を常に指示します。また、モジュールベイ HDD がある場合でも、パスワードの入力が常に指示されます。
Password Change	<p>管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワードによる変更を許可) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Computrace	<p>このフィールドでは、オプションの <i>Absolute Software</i> 社製 <i>Computrace Service</i> の BIOS モジュールインタフェースを起動または無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Deactivate (非アクティブにする) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • 無効 • Activate (アクティブ化)
シャーフシイントルージョン	<p>このフィールドでは、シャーフシイントルージョン機能を制御します。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • On-Silent (オンサイレント)
CPU XD Support	<p>プロセッサの Execute Disable (実行無効) モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable CPU XD Support (CPU XD サポートを有効にする) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Admin Setup Lockout	<p>管理者パスワードが設定されている場合、セットアップユーティリティを起動するオプションを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトの有効化) - このオプションはデフォルトでは設定されていません。
HDD Protection Support (HDD 保護のサポート)	<p>HDD 保護サポートを有効または無効にすることができます。このオプションは、一部の地域でのみご利用いただけます。このオプションはデフォルトで設定されていません。</p>

表 5. Secure Boot

オプション	説明
Secure Boot Enable (安全起動有効化)	<p>このオプションは安全起動機能を有効または無効にします。安全起動を有効にするには、コンピュータが UEFI 起動モードでありレガシーオプション ROM を有効にするオプションの電源をオフにする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 <p> メモ: このデフォルト設定はお使いのコンピュータのオペレーティングシステムによります。</p>




オプション	説明
Expert Key Management	<p data-bbox="644 254 1402 348"> メモ: 安全起動が不具合により無効になっている場合、ジャンパーリセットは安全起動を無効のままにして、「起動モード」および「レガシーオプション ROM を有効にする」をデフォルト値にリセットします。</p> <p data-bbox="564 380 1402 457">システムがカスタムモードの場合にのみセキュリティキーデータベースを操作できます。Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトでは無効になっています。このオプションは次のとおりです。</p> <ul data-bbox="608 478 687 611" style="list-style-type: none"> • PK • KEK • db • dbx <p data-bbox="564 632 1402 688">Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。このオプションは次のとおりです。</p> <ul data-bbox="608 709 1402 995" style="list-style-type: none"> • Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。 • Replace from File (ファイルから取り付け) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 • Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 • Delete (削除) - 選択したキーを削除します。 • Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。 • Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。
	<p data-bbox="564 1016 1402 1071"> メモ: カスタムモードを無効にすると、すべての変更が消去され、キーがデフォルト設定に復元されます。</p>

表 6. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	<p data-bbox="564 1205 1402 1283">プロセスが 1 つまたはすべてのコアを有効にするかどうか指定します。コアを追加することでアプリケーションのパフォーマンスが向上する場合があります。</p> <ul data-bbox="608 1304 1002 1402" style="list-style-type: none"> • すべて - デフォルトで有効に設定 • 1 • 2
Intel® SpeedStep™	<p data-bbox="564 1436 1402 1493">プロセッサの Intel SpeedStep モードを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効です。</p>
C States Control	<p data-bbox="564 1507 1402 1564">プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効です。</p>
Hyper-Thread Control (ハイパースレッド制御)	<p data-bbox="564 1579 1402 1635">ハイパースレッドテクノロジーを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
Rapid Start Technology (ラピッドスタートテクノロジー)	<p data-bbox="564 1650 1402 1776">ユーザーが指定した時間が経ってスリープ中にシステムを低電力状態にすると、自動的に電源管理を向上させることができます。スリープ状態からの復帰時間が一部増加する場合がありますが、平均的な復帰時間は休止状態からの復帰よりも速くなります。タイマーは値を「0」にして始めるように設定できます。デフォルトで、このオプションは無効に設定されています。</p>

表 7. 電源管理

オプション	説明
AC Recovery	<p>AC 電源損失後に、AC 電源を投入したときのコンピューターの動作を指定します。AC リカバリーを次のオプションに設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Power Off (電源オフ) (デフォルト) • 電源オン • Last Power State (直前の電源状態)
Auto On Time (自動起動時刻)	<p>このオプションでは、システムを自動的に起動する日時を設定します。時刻は標準の 12 時間形式 (時間 : 分 : 秒) です。時刻および A.M./P.M. フィールドに値を入力することで起動時刻を変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) (デフォルト) - システムは自動的に電源オンにはなりません。 • Every Day (毎日) - システムは上記で指定した時刻に毎日電源がオンになります。 • Weekdays (平日) - システムは上記で指定した時刻に月曜日から金曜日に電源がオンになります。 • Select Days (日を選択) - システムは上記で選択した日の上記で指定した時刻に電源がオンになります。 <p> メモ: この機能は、電源タップのスイッチやサージプロテクターでコンピューターの電源をオフにした場合、または Auto Power (自動電源) が無効に設定されている場合は動作しません。</p>
Deep Sleep Control	<p>ディープスリープを有効にするタイミングの制御を定義することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • Enabled in S5 only (S5 のみで有効) • Enabled in S4 and S5 (S4 と S5 で有効) <p>S4 と S5 で有効はデフォルトで有効です。</p>
Fan Control Override	<p>システムファンのスピードをコントロールします。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <p> メモ: 有効にすると、ファンは最大速度で動作します。</p>
USB Wake Support	<p>このオプションでは、USB デバイスでコンピューターを待機状態からウェイクさせることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートの有効化) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Wake on LAN / WLAN	<p>このオプションでは、特殊な LAN 信号でトリガーすることで、コンピューターの電源をオフ状態から投入することができます。待機状態からのウェイクアップは、この設定による影響はなく、オペレーティングシステムで有効にされている必要があります。この機能は、コンピューターが AC 電源に接続されている場合にのみ正常に動作します。このオプションはフォームファクターにより異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) - LAN またはワイヤレス LAN からウェイクアップ信号を受信すると、特殊な LAN 信号によるシステムの起動が許可されなくなります。 • LAN Only (LAN のみ) - 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • WLAN Only (WLAN のみ) - 特殊な WLAN 信号によるシステムの起動を許可します。(ウルトラスモールフォームファクターのみ) • LAN or WLAN (LAN または WLAN) - 特殊な LAN または WLAN 信号によるシステムの起動を許可します。(ウルトラスモールフォームファクターのみ) • LAN with PXE Boot (PXE 起動を伴う LAN) - 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。 <p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
Block Sleep (スリープのブロック)	<p>このオプションでは、オペレーティングシステムの環境でスリープ (S3 状態) に入るのをブロックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Block Sleep (S3 state) (ブロックスリープ (S3 状態)) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Intel Smart Connect Technology	<p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションが有効の場合、機能はシステムがスリープ中に近くのワイヤレス接続を定期的に感知します。スマート接続はコンピュータがスリープ状態になっている時に開かれた E メールやソーシャルメディアアプリケーションを同期化します。</p>

表 8. POST Behavior (POST 動作)

オプション	説明
Adapter Warnings	<p>このオプションでは特定の電源アダプタが使用されたときに、警告メッセージを表示する必要があるかどうかを選択することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
Numlock LED	<p>システム起動時に NumLock 機能を有効にするかどうか指定します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
Keyboard Errors (キーボードエラー)	<p>起動時にキーボード関連のエラーを報告するかどうか指定します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
POST Hotkeys	<p>サインオン画面にメッセージを表示するかどうかを指定します。このメッセージには、BIOS Boot Option Menu (BIOS ブートオプションメニュー) を起動するのに必要なキーストロークシーケンスが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable F12 Boot Option menu (F12 起動オプションメニューを有効にする) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Fastboot (高速起動)	<p>いくつかの互換手順を飛ばして起動処理を速めます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Minimal (最小) • Thorough (詳細) - このオプションはデフォルトで選択されています。 • 自動

表 9. 仮想化サポート

オプション	説明
Virtualization	<p>このオプションでは、インテル・バーチャライゼーション・テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p>

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • Enable Intel Virtualization Technology (Intel 仮想化テクノロジーの有効化) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。



表 10. ワイヤレス

オプション	説明
Wireless Device Enable	<p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効/無効にすることができます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WLAN • Bluetooth <p>このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>

表 11. メンテナンス

オプション	説明
サービスタグ	コンピューターのサービスタグを表示します。
アセットタグ	アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。
SERR Messages	SERR メッセージのメカニズムをコントロールします。このオプションはデフォルトで設定されていません。SERR メッセージのメカニズムが無効になっていることが必要なグラフィックスカードもあります。

表 12. クラウドデスクトップ

オプション	説明
Server Lookup Method (サーバー検出方法)	<p>このオプションでは、クラウドデスクトップによるサーバーアドレスの検出方法を指定します。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Static IP (静的 IP) - 静的 IP アドレスを使用します。 • DNS - ドメインネームシステム (DNS) プロトコルを使用して複数の IP アドレスを取得します。このオプションはデフォルトで選択されています。 <p> メモ: このオプションでは、System Configuration (システムの設定) グループの Integrated NIC (統合 NIC) コントロールが Enabled with Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
Server IP Address (サーバーの IP アドレス)	<p>このオプションでは、クライアントのソフトウェアが通信するクラウドデスクトップサーバーの主要な静的 IP アドレスを指定します。デフォルトのサーバー IP アドレスは 255.255.255.255 です。</p> <p> メモ: このオプションでは、System Configuration (システムの設定) グループの Integrated NIC (統合 NIC) コントロールが Enabled with Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
Server Port (サーバーポート)	<p>このオプションでは、クライアントのソフトウェアが通信するクラウドデスクトップの主要な IP ポートを指定します。デフォルトのサーバーポート値は 06910 です。</p>






オプション	説明
	<p> メモ: このオプションでは、System Configuration (システムの設定) グループの Integrated NIC (統合 NIC) コントロールが Enabled with Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
Client Address Method (クライアントのアドレス入手方法)	<p>このオプションでは、クライアントによる IP アドレスの入手方法を指定します。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Static IP (静的 IP) - 静的 IP アドレスを使用します。 • DHCP - DHCP を使用して IP アドレスを取得します。このオプションはデフォルトで選択されています。 <p> メモ: このオプションでは、System Configuration (システムの設定) グループの Integrated NIC (統合 NIC) コントロールが Enabled with Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
Client IP Address (クライアントの IP アドレス)	<p>このオプションでは、クライアントの静的 IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。</p> <p> メモ: このオプションでは、System Configuration (システムの設定) グループの Integrated NIC (統合 NIC) コントロールが Enabled with Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
Client SubnetMask (クライアントサブネットマスク)	<p>このオプションでは、クライアントのサブネットマスク IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。</p> <p> メモ: このオプションでは、System Configuration (システムの設定) グループの Integrated NIC (統合 NIC) コントロールが Enabled with Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
Client Gateway	<p>このオプションでは、クライアントのゲートウェイ IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。</p> <p> メモ: このオプションでは、System Configuration (システムの設定) グループの Integrated NIC (統合 NIC) コントロールが Enabled with Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
詳細	<p>このオプションでは、Verbose Mode (冗長モード) を有効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Verbose Mode (冗長モード)

表 13. イメージサーバー



License Status	EasyConnect 埋め込みライセンスステータスを表示します。
----------------	-----------------------------------

表 14. システムログ

オプション	説明
BIOS events	<p>システムイベントログを表示し、そのログを消去することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ログのクリア

Updating the BIOS

It is recommended to update your BIOS (system setup), on replacing the system board or if an update is available. For laptops, ensure that your computer battery is fully charged and connected to a power outlet

1. Re-start the computer.
2. Go to dell.com/support.
3. Enter the **Service Tag** or **Express Service Code** and click **Submit**.
 -  **NOTE:** To locate the Service Tag, click **Where is my Service Tag?**
 -  **NOTE:** If you cannot find your Service Tag, click **Detect My Product**. Proceed with the instructions on screen.
4. If you are unable to locate or find the Service Tag, click the Product Category of your computer.
5. Choose the **Product Type** from the list.
6. Select your computer model and the **Product Support** page of your computer appears.
7. Click **Get drivers** and click **View All Drivers**.

The Drivers and Downloads page opens.
8. On the Drivers and Downloads screen, under the **Operating System** drop-down list, select **BIOS**.
9. Identify the latest BIOS file and click **Download File**.

You can also analyze which drivers need an update. To do this for your product, click **Analyze System for Updates** and follow the instructions on the screen.
10. Select your preferred download method in the **Please select your download method below window**; click **Download File**.

The **File Download** window appears.
11. Click **Save** to save the file on your computer.
12. Click **Run** to install the updated BIOS settings on your computer.

Follow the instructions on the screen.


System and Setup Password

You can create a system password and a setup password to secure your computer.

Password Type	Description
System password	Password that you must enter to log on to your system.
Setup password	Password that you must enter to access and make changes to the BIOS settings of your computer.

 **注意:** The password features provide a basic level of security for the data on your computer.

 **注意:** Anyone can access the data stored on your computer if it is not locked and left unattended.

 **メモ:** Your computer is shipped with the system and setup password feature disabled.

Assigning a System Password and Setup Password

You can assign a new **System Password** and/or **Setup Password** or change an existing **System Password** and/or **Setup Password** only when **Password Status** is **Unlocked**. If the Password Status is **Locked**, you cannot change the System Password.



メモ: If the password jumper is disabled, the existing System Password and Setup Password is deleted and you need not provide the system password to log on to the computer.

To enter a system setup, press <F2> immediately after a power-on or re-boot.

1. In the **System BIOS** or **System Setup** screen, select **System Security** and press <Enter>. The **System Security** screen appears.
2. In the **System Security** screen, verify that **Password Status** is **Unlocked**.
3. Select **System Password**, enter your system password, and press <Enter> or <Tab>. Use the following guidelines to assign the system password:
 - A password can have up to 32 characters.
 - The password can contain the numbers 0 through 9.
 - Only lower case letters are valid, upper case letters are not allowed.
 - Only the following special characters are allowed: space, ("), (+), (,), (-), (.), (/), (:), (D), (\), (I), (').

Re-enter the system password when prompted.

4. Type the system password that you entered earlier and click **OK**.
5. Select **Setup Password**, type your system password and press <Enter> or <Tab>. A message prompts you to re-type the setup password.
6. Type the setup password that you entered earlier and click **OK**.
7. Press <Esc> and a message prompts you to save the changes.
8. Press <Y> to save the changes. The computer reboots.

既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードの削除または変更

既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除または変更する前に**パスワード状態**がロック解除(システムセットアップで)になっていることを確認します。**パスワード状態**がロックされている場合、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更することはできません。

システムセットアップを入力するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. **システム BIOS** 画面または**システムセットアップ**画面で、**システムセキュリティ**を選択し、<Enter>を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. **システムセキュリティ**画面で**パスワードステータス**が**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **システムパスワード**を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter>または<Tab>を押します。
4. **セットアップパスワード**を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter>または<Tab>を押します。




メモ: システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力してください。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合、プロンプトが表示されたら削除を確認してください。

5. <Esc>を押すと、変更の保存を要求するメッセージが表示されます。
6. <Y>を押して変更を保存しシステムセットアップを終了します。
コンピューターが再起動します。

Diagnosics (診断)


コンピューターに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前に **ePSA** 診断を実行してください。診断プログラムを実行する目的は、特別な装置を使用せず、データが失われる心配をすることなくコンピューターのハードウェアをテストすることです。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。


 **メモ:** 作業を進める前に、support.dell.com から最新バージョンの BIOS をダウンロードしてインストールしてください。

ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断

ePSA 診断(システム診断としても知られている)ではハードウェアの完全なチェックを実施します。ePSAには BIOS が埋め込まれており、内部的に BIOS によって起動されます。埋め込まれたシステム診断では以下のことが可能な特定のデバイスまたはデバイスグループにオプションのセットを提供します:

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

 **注意:** システム診断は、お使いのコンピューターをテストする場合にのみ使用してください。このプログラムを他のコンピューターで使用すると、無効な結果やエラーメッセージが発生する場合があります。



 **メモ:** 特定のデバイスについてはユーザーの対話が必要なテストもあります。診断テストを実行する際にコンピューター端末の前に常にいなければなりません。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. コンピューターが起動すると、Dell のロゴが表示されるように <F12> キーを押します。
3. 起動メニュー画面で、**診断** オプションを選択します。
ePSA 起動前システムアセスメントウィンドウが表示され、コンピューター内で検出された全デバイスがリストアップされます。診断が検出された全デバイスのテストを開始します。
4. 特定のデバイスで診断テストを実行する場合、<Esc> を押して **はい** をクリックし、診断テストを中止します。
5. 左のパネルからデバイスを選択し、**テストの実行** をクリックします。
6. 問題がある場合、エラーコードが表示されます。
エラーコードをメモしてデルに連絡してください。

コンピューターのトラブルシューティング


診断ライト、ビープコード、およびエラーメッセージなどのインジケータを使って、コンピューターの操作中にトラブルシューティングを行うことができます。

重要情報

-  **メモ:** ほこりの多い、高温、または湿気の多い所でタッチスクリーンを使用しないでください。
-  **メモ:** 急激な温度変化によりガラス画面の内面が結露することがありますが、すぐに消えるため通常の使用に影響はありません。

診断電源 LED コード

電源 LED 状態を次の表に示します。

-  **メモ:** 電源 LED は POST プロセスにおける進捗状況のインジケータとしてのみ機能します。これらの LED では POST ルーチンを停止させる問題は示しません。

電源 LED	説明
オフ	電源はオフです。LED は点灯していません。
橙色の点滅	電源投入時の LED の初期状態です。電源 LED の橙色点滅による診断情報と障害の可能性については、次の表を参照してください。
橙色の点灯	電源投入時の LED の 2 番目の状態です。POWER_GOOD 信号がアクティブであることを示しています。
白色の点滅	システムは低電源の状態です。障害状態は示しません。
白色の点灯	コンピューターの電源はオンの状態です。

電源 LED が橙色で点滅するパターンにより、以下のように障害をいくつか特定することができます。橙色 LED の点滅パターンとは、2 回または 3 回の点滅、続いて短中断、その後 X 回（最大 7 回）の点滅というパターンです。パターンの中間に長中断を置いて、パターンを繰り返します。たとえば、「2,3」とは、2 回の橙色点滅、短中断、3 回の橙色点滅、長中断の繰り返しを示しています。

電源 LED の橙色点滅	問題の内容
2,1	マザーボードに障害が発生している可能性があります。
2,2	マザーボード、電源ユニット、または電源ユニットのケーブル配線に障害が発生している可能性があります。
2,3	マザーボード、メモリ、またはプロセッサに障害が発生している可能性があります。
2,4	コイン型バッテリーに障害が発生している可能性があります。

電源 LED の橙色点滅	問題の内容
2,5	システムが回復モードである可能性があります。 support.dell.com/support から最新の BIOS をダウンロードしてインストールします。
2,6	プロセッサに障害が発生している可能性があります。
2,7	メモリに障害が発生している可能性があります。メモリを取り付け直すか、別のメモリモジュールを取り付けます。
3,1	ビデオデバイスまたはサブシステムに障害が発生している可能性があります。
3,2	ビデオサブシステムに障害が発生している可能性があります。
3,3	メモリモジュールは検出されませんでした。
3,4	ストレージデバイスに障害が発生している可能性があります。
3,5	メモリは互換性がない可能性があります。
3,6	システム基板に障害が発生している可能性があります。
3,7	メモリは検出されましたが、設定が正しくありません。

ビープコード

ビープパターン 1-3-2 (1回のビープ、続いて3回のビープ、その後2回のビープ) は、コンピューターでメモリの問題が発生していることを示しています。メモリモジュールを取り付け直すことで、ビープコードが示すエラーを修正できる場合もあります。

エラーメッセージ

メッセージ	説明
Alert! Previous attempts at booting this system have failed at checkpoint [nnnn]. For help in resolving this problem, please note this checkpoint and contact Dell Technical Support (警告! このシステムでは前回の起動時にチェックポイント [nnnn] で障害が発生しました。この問題を解決するには、このチェックポイントをメモしてデルテクニカルサポートにお問	コンピューターは、同じエラーにより 3 回続けて、起動ルーティンを完了できませんでした。デルにご連絡の上、チェックポイントコード (nnnn) をサポート担当者に報告してください。

メッセージ	説明
い合わせください)	
System fan failure (システムファン障害)	ファンに障害が発生した可能性があります。
CPU fan failure (CPU ファン障害)	CPU ファンに障害が発生した可能性があります。
Hard-disk drive failure (ハードディスクドライブ障害)	POST 中にハードドライブに障害が発生した可能性があります。
Hard-disk drive read failure (ハードディスクドライブ読み込み障害)	起動テスト中にハードドライブに障害が発生した可能性があります。
Keyboard failure (キーボード障害)	ケーブルまたはコネクタがしっかりと接続されていないか、キーボードまたはキーボード/マウスコントローラーに障害が発生している可能性があります。
RTC はリセットされます。BIOS のセットアップデフォルトはロード済みです。続けるには F1 キーを、セットアップユーティリティを実行するには F2 キーを押します。	RTC ジャンパーが間違って設置されている可能性があります。
No boot device available (起動デバイスがありません)	<p>ハードドライブ上に起動可能なパーティションが存在しない、ケーブルまたはコネクタがしっかりと接続されていない、あるいは起動可能なデバイスが存在しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードドライブが起動デバイスの場合、ケーブルが接続されていること、およびドライブが適切に取り付けられ、起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認します。 セットアップユーティリティを起動して、起動順序の情報が正しいことを確認します。
No timer tick interrupt (タイマーティック割り込み信号がありません)	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。
USB over current error (USB 過電流エラー)	USB デバイスを取り外します。電力不足で USB が正常に機能していません。USB デバイスを外部電源に接続するか、デバイスに USB ケーブルが 2 本ある場合は、両方も接続します。
CAUTION - Hard Drive SELF MONITORING SYSTEM has reported that a parameter has	S.M.A.R.T エラーまたはハードディスクドライブに障害が発生した可能性があります。デルにご連絡の上、問題をサポート担当者に報告してください。

メッセージ 説明

exceeded its normal operating range. Dell recommends that you back up your data regularly. A parameter out of range may or may not indicate a potential hard drive problem

(注意 - ハードドライブの自己監視システムに、パラメーターが通常の動作範囲を超えていることがレポートされています。デルではデータを定期的にバックアップすることをお勧めしています。パラメーターが範囲を超えていても、ハードドライブに潜在的な問題がある場合とそうでない場合があります。)

仕様



 **メモ:** 提供される内容は地域により異なる場合があります。コンピューターの構成の詳細を確認するには、スタート  (スタートアイコン) → ヘルプとサポート の順にクリックし、お使いのコンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

表 15. システム情報

機能	仕様
プロセッサのタイプ	<ul style="list-style-type: none"> • Intel Celeron デュアルコア • Intel Core i3/i5 シリーズ (第 3 世代) • Intel Pentium デュアルコア
キャッシュ合計	プロセッサのタイプに応じて最大 8 MB キャッシュ
チップセット	Intel B75 Express チップセット

表 16. メモリ

機能	仕様
種類	最大 1600 MHz、バッファリング無し non-ECC、デュアルチャネル DDR3 構成
コネクタ	内部アクセス用 DDR3 SODIMM ソケット (2)
容量	2 GB および 4 GB
最小メモリ	2 GB
最大メモリ	8 GB

表 17. ビデオ

機能	仕様
ビデオコントローラー (内蔵)	内蔵 Intel® HD グラフィックス 2500
Video Memory	共有メモリ
外部ディスプレイサポート	Wi-Fi ディスプレイ


 **メモ:** Wi-Fi ディスプレイにはワイヤレスカード (別途購入可能) が必要です。

表 18. オーディオ

機能	仕様
コントローラ	Waves MazzAudio 3 搭載 Intel ハイデフィニッションオーディオ
スピーカー	左右両スピーカーアセンブリ内の単独 4 Ω スピーカー (チャンネル当たり平均 3 W)
内蔵マイク対応	単一デジタルマイク
ボリュームコントロール	ボリュームアップ/ダウンボタン、プログラムメニュー、およびキーボードメディアコントロールキー

表 19. 通信

機能	仕様
ネットワークアダプター	システム基板上の Intel 10/100/1000 Mbps Ethernet LAN
ワイヤレス	ハーフミニカード (Wi-Fi ディスプレイ対応の Wi-Fi b/g/n)

表 20. カード

機能	仕様
ミニ PCI Express	(1)

表 21. ディスプレイ

機能	仕様
種類	20 インチ HD+ WLED
最大解像度	1600 x 900
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	178° (水平) / 178° (垂直)
ピクセルピッチ	0.27 mm
制御	オンスクリーンコントロール
寸法 :	
高さ	249.08 mm (9.81 インチ)
幅	442.80 mm (17.43 インチ)
対角線	508.00 mm (20.00 インチ)

表 22. ドライブ

機能	仕様
ハードドライブ	3.5 インチ SATA ドライブ (1) 、またはアダプターブラケット付 2.5 インチ SATA ドライブ (1)
オプティカルドライブ (オプション)	DVD-ROM、DVD+/-RW、またはコンボブルーレイライター (1)

表 23. ポートとコネクタ

機能	仕様
オーディオ :	<ul style="list-style-type: none"> オーディオ入力/マイクポート (1) ヘッドフォンポート (1)
ネットワークアダプター	RJ45 コネクタ x 1
USB 2.0	背面パネルのコネクタ (4)
USB 3.0	サイドパネルのコネクタ (2)
シリアル	9 ピンコネクタ、16550C 互換 (1)
メディアカードリーダー	8-in-1 スロット (1)

表 24. 電源

機能	仕様
AC アダプタ :	
種類	180 W
周波数	50 Hz ~ 60 Hz
電圧	100 VAC ~ 240 VAC
定格出力電圧	19.50 VDC
入力電流	最大 2.34 A
出力電流 (連続)	9.23 A
寸法 :	
高さ	30.00 mm
幅	76.20 mm
奥行き	155.00 mm
重量	0.58 kg (1.28 ポンド)
温度範囲 :	
動作時	0°C ~ 40 °C (30 °F ~ 104 °F)
ストレージ	-40°C ~ 70°C
コイン型バッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー

表 25. カメラ (オプション)

機能	仕様
イメージ解像度	1024 x 720 p
ビデオ解像度	720 p HD
斜め可視角度	66.2 度

表 26. スタンド

機能	仕様
傾き	-5 ~ 30 度

表 27. 外形寸法

機能	仕様	
	タッチスクリーンなし	タッチ
幅	506.80 mm (19.95 インチ)	506.80 mm (19.95 インチ)
高さ :		
スタンドなし	323.00 mm	323.00 mm
スタンド取り付け時	376.95 mm (14.84 インチ)	376.95 mm (14.84 インチ)
奥行き	63.20 mm (2.49 インチ)	65.50 mm (2.58 インチ)
重量 (最小)	6.95 ~ 7.44 kg (15.32 ~ 16.40 ポンド)	8.14 ~ 8.63 kg (17.94 ~ 19.02 ポンド)
スタンド (幅 x 奥行き)	220.00 mm (8.66 インチ) x 220.00 mm (8.66 インチ)	


 **メモ:** コンピューターの重量は、発注時の構成や製造上の条件により異なる場合があります。

表 28. コントロールおよびライト


機能	仕様
電源ボタンライト	白色のライト — 白色の点灯は、電源オンの状態を示します。白色の点滅は、コンピューターがスリープ状態であることを示します。
ハードドライブ動作ライト	白色のライト — 白色の点滅は、コンピューターがハードドライブからデータを読み取っている、またはハードドライブにデータを書き込んでいることを示します。
カメラ LED	白色のライト — 白色の点灯は、カメラがオンになっていることを示します。
背面パネル :	
リンク保全ライト (内蔵ネットワークアダプター上) :	<p>緑色 — ネットワークとコンピューターとの間で 10 Mbps の接続が良好であることを示します。</p> <p>緑色 — ネットワークとコンピューターとの間で 100 Mbps の接続が良好であることを示します。</p> <p>橙色 — ネットワークとコンピューターとの間で 1000 Mbps の接続が良好であることを示します。</p> <p>オフ (消灯) — コンピューターはネットワークに物理的に接続されていることを検出していません。</p>
ネットワーク動作ライト (内蔵ネットワークアダプター上)	黄色のライト — 黄色の点滅は、ネットワークが動作していることを示します。

機能	仕様
電源ユニット診断ライト	緑色のライト — 電源が入っており、機能していることを示します。電源ケーブルは電源コネクタ（コンピューターの背面）とコンセントに接続してください。

表 29. 環境


機能	仕様
温度範囲：	
動作時	5 ~ 35 °C (41 °F ~ 95 °F)
ストレージ	-40 ~ 65 °C (-40 ~ 149 °F)
相対湿度（最大）：	
動作時	10 ~ 90 %（結露しないこと）
ストレージ	10 ~ 95 %（結露しないこと）
最大振動：	
動作時	0.66 GRMS
ストレージ	1.30 GRMS
最大衝撃：	
動作時	110 G
ストレージ	160 G
高度：	
動作時	-15.20 ~ 3,048 m (-50 ~ 10,000 フィート)
ストレージ	-15.20 ~ 10,668 m (-50 ~ 35,000 フィート)
空気中浮遊汚染物質レベル	G2、または ANSI/ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内

Contacting Dell

 **NOTE:** If you do not have an active Internet connection, you can find contact information on your purchase invoice, packing slip, bill, or Dell product catalog.

Dell provides several online and telephone-based support and service options. Availability varies by country and product, and some services may not be available in your area. To contact Dell for sales, technical support, or customer service issues:

1. Go to dell.com/contactdell.
2. Verify your country or region from the drop-down menu at the top left corner of the page.
3. Select your support category: **Technical Support**, **Customer Support**, **Sales**, or **International Support Services**.
4. Select the appropriate service or support link based on your requirement.

 **NOTE:** If you have purchased a Dell system, you may be asked for the Service Tag.